

2009年度

京都大学野生動物研究センター一年報

Wildlife Research Center, Kyoto University



キボシイワハイラックス



イロワケイルカ



ニホンザル



アジアゾウ

2009 年度

京都大学野生動物研究センター年報

Wildlife Research Center, Kyoto University

目 次

1. 巻頭言	1
2. 野生動物研究センター憲章	2
3. 組織概要	2
4. 2009 年度構成員	3
5. この一年の動き・活動	5
6. 教育活動	7
7. 外部資金	8
8. グローバル COE としての活動	9
9. HOPE プロジェクト	9
10. 動物園・水族館との連携 (研究, 教育, 連携協定など)	11
11. 京都市や地域との連携	14
12. 国内研究拠点・国内機関との共同研究	14
13. 共同研究者訪問履歴表	15
14. 海外拠点・海外機関との研究交流等	16
15. 海外渡航	16
16. 自己点検評価	18
17. 2009 年度研究業績	
執筆文章 (和文)	19
執筆文章 (英文)	20
学会等での発表・講演 (日本語)	21
学会等での発表・講演 (英語)	23
制作した映像・番組	24
受賞	25
18. 新聞・雑誌・TV 等での紹介	25
19. 附属観測所利用実績	
幸島観測所	28
屋久島観測所	28

1. 巻頭言

2009 年度は、政権の交代が学術の世界にも少なからず影響した年でした。しかし、野生動物研究センターにとっては開設後 2 年目にあたり、大学院修士の第一期生や博士課程への編入者を迎え、その所帯も徐々に大きくなりつつあります。それに伴って、国内ならびに海外での研究活動も一段と多様化してきました。

国内では、鹿児島県・屋久島と宮崎県・幸島の観察ステーションがより充実しつつあり、この2つの拠点を利用して多彩な教育研究活動が展開されています。また、寄附研究部門を設置している熊本県のチンパンジー・サンクチュアリ・宇土や、研究協力をしている林原類人猿研究センターといった民間の研究機関での研究も軌道に乗りつつあります。さらに、2008 年度に連携協定を締結した京都市動物園での活動も順調に進展しています。今年度は、名古屋港水族館、よこはま動物園ズーラシア、そして熊本市動植物園等と新たに連携協定を結ぶことができました。現在、2008 年度に連携協定を結んだ名古屋市東山動物園と名古屋港水族館との共催で、2010 年秋に名古屋市で開催される生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) に向けた国際シンポジウムの準備が進められています。また、ズーラシアでは新たにチンパンジーの森が開設されましたし、熊本市動植物園においてもチンパンジー展示施設の新設が着々と進められています。そうした中で、名古屋市東山動植物園の再生計画が停滞気味なことは残念と言わざるを得ないでしょう。今後の新展開に期待したいと思います。

海外での研究活動では、ドイツのライプニッツ野生動物研究所やイタリアの環境保全研究所などに大学院生を派遣し、研究者ネットワークを拡張すると共に、野生動物の遺伝子解析や行動記録に関するより高度な技術を習得することができました。また、西アフリカのガーナ大学と研究協定を締結したことで、双方の研究者交流をより推進していくことができるでしょう。そして、何よりもマレーシア・ボルネオ島のダナンバレーにおける新たな研究拠点の開設は特筆すべきことでしょう。今後は、この拠点を土台とし、ボルネオ熱帯雨林での野生動物研究が発展することが期待されます。東アフリカのタンザニアでは研究対象となる動物種が増え、同時に新しいフィールドの開拓も計画されています。

以上の国々との研究体制づくりは、これらの地域における将来の研究の進展を保証するものになりますし、より多様な地域・対象の研究に繋がるものと信じております。本センターにとって最も大切なことは、日本で唯一の野生動物研究の拠点を目指し、その発展の礎となるべく確固たる地位を築くことです。今後とも変わらぬご指導をお願い申し上げる次第です。

京都大学野生動物研究センター
センター長 伊谷 原一

2. 野生動物研究センター憲章

(平成 20 年 2 月 5 日制定)

京都大学野生動物研究センターは、野生動物に関する教育研究をおこない、地球社会の調和ある共存に貢献することを目的とする。その具体的な課題は次の 3 点に要約される。第 1 に、絶滅の危惧される野生動物を対象とした基礎研究を通じて、その自然の生息地での暮らしを守り、飼育下での健康と長寿をはかるとともに、人間の本性についての理解を深める研究をおこなう。第 2 に、フィールドワークとライフサイエンス等の多様な研究を統合して新たな学問領域を創生し、人間とそれ以外の生命の共生のための国際的研究を推進する。第 3 に、地域動物園や水族館等との協力により、実感を基盤とした環境教育を通じて、人間を含めた自然のあり方についての深い理解を次世代に伝える。

京都大学野生動物研究センター設置準備委員会

3. 組織概要

センターの研究は、野生動物のこころ、からだ、くらし、ゲノム、そして健康長寿の探究をめざします。そのために、下記のような 5 つの研究部門で構成されています。さらに 1 つの寄附部門、国内に 3 つの研究拠点、海外に 7 つのフィールドワークの研究拠点があります。

1. 研究部門

比較認知科学, 動物園科学, 保全生物学, 人類進化科学, 健康長寿科学

2. 寄附部門

福祉長寿研究部門

3. 国内の研究拠点

幸島観察所, 屋久島観察所, チンパンジー・サンクチュアリ・宇土

4. 海外の研究拠点

ボルネオのダナンバレー, タンザニアのウガラとマハレ, コンゴのカフジとワンバ, ガボンのムカラバ, ギニアのボッソウ・ニンバ

なおセンターの運営は、協議委員会でおこない、諮問機関として、連携協議会があります。

4. 2009 年度構成員

教員

センター長・教授:伊谷 原一 (いだに げんいち)
教授:幸島 司郎 (こうしま しろう)
教授:村山 美穂 (むらやま みほ)
准教授:杉浦 秀樹 (すぎうら ひでき)
准教授:田中 正之 (たなか まさゆき)
准教授:中村 美知夫 (なかむら みちお)
客員准教授:Tatyana Humle (たちあな はむる) (外国人研究員) (～2009 年 12 月 31 日)

寄附研究部門教員 (チンパンジー・サンクチュアリ・宇土)

准教授:中村 美穂 (なかむら みほ) (時間雇用)
助教:森村 成樹 (もりむら なるき) (特定有期雇用)
助教:藤澤 道子 (ふじさわ みちこ) (特定有期雇用)

事務職員・技術職員・非常勤職員等

事務長:小倉 一夫 (おぐら かずお) (霊長類研究所と兼任)
事務掛長:福垣 重樹 (ふくがき しげき)
事務職員 (再雇用):小寺 英治 (こてら えいじ)
技術職員:鈴木 崇文 (すずむら たかふみ) (幸島観察所)
技術職員 (再雇用):冠地 富士男 (かんち ふじお) (幸島観察所)
教務補佐員:西江 仁徳 (にしえ ひとなる)
事務補佐員:高橋 佐和子 (たかはし さわこ)
研究支援推進員:宮崎 洋子 (みやざき ようこ) (2009 年 11 月 1 日～2010 年 3 月 31 日)
研究支援推進員:加藤 さやか (かとう さやか) (2009 年 11 月 1 日～2010 年 3 月 31 日)
研究支援推進員:國本 幸子 (くにもと さちこ) (2009 年 11 月 1 日～2010 年 3 月 31 日)

兼任教員

教授:渡辺 邦夫 (わたなべ くにお) 京都大学霊長類研究所教授
教授:長谷川 博 (はせがわ ひろし) 東邦大学理学部教授
教授:松林 公蔵 (まつばやし こうぞう) 京都大学東南アジア研究所教授
教授:松沢 哲郎 (まつざわ てつろう) 京都大学霊長類研究所教授
教授:山極 壽一 (やまぎわ じゅいち) 京都大学大学院理学研究科教授
教授:長谷川 寿一 (はせがわ としかず) 東京大学大学院総合文化研究科教授
教授:遠藤 秀紀 (えんどう ひでき) 東京大学総合博物館教授
准教授:友永 雅己 (ともなが まさき) 京都大学霊長類研究所准教授
准教授:半谷 吾郎 (はんや ごろう) 京都大学霊長類研究所准教授
准教授:平田 聡 (ひらた さとし) 林原類人猿研究所主任研究員

研究員等

外国人特別研究員:Boniface B. Kayang (ぼにふえいす B かやん) (～2009 年 9 月 31 日)
外国人共同研究者:Imbert Marika (いんべる まりか) (～2009 年 5 月 31 日)
日本学術振興会 特別研究員PD:森阪 匡通 (もりさか ただみち)
日本学術振興会 特別研究員PD:山田 一憲 (やまだ かずのり)
日本学術振興会 特別研究員PD:久世 濃子 (くぜ のうこ)

研究員 (研究機関): 早野 あづさ (はやの あづさ) (2009 年 11 月 1 日～2010 年 3 月 31 日)
研究員 (研究機関): 長谷川 喜子 (はせがわ のぶこ) (2009 年 11 月 1 日～2010 年 3 月 31 日)
研究員 (研究機関): 伊藤 詞子 (いとう のりこ) (2009 年 12 月 1 日～2010 年 3 月 31 日)

大学院博士後期課程

鈴木 真理子 (すずき まりこ)
原澤 牧子 (はらさわ まきこ)
吉田 弥生 (よしだ やよい)
佐々木 (山本) 友紀子 (ささき ゆきこ)
阿部 秀明 (あべ ひであき)

大学院修士課程

飯田 恵理子 (いいだ えりこ)
石黒 雄大 (いしぐろ ゆうた)
岸 尚代 (きし ひさよ)
松川 あおい (まつかわ あおい)
安井 早紀 (やすい さき)

研究生

Sherif Ibrahim Ahmed Ramadan (しぇりふ いぶらひむ あーめど らまだん) (2009 年 10 月 1 日～2010 年 3 月 31 日)

特別研究学生

吉川 翠 (よしかわ みどり) 東京農工大学大学院連合農学研究科博士後期課程 (2009 年 12 月 1 日～)

※期間が書いていない場合は 2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日の在籍

5. この一年の動き・活動

- 2009 年 4 月 8 日： 新入大学院生等ガイダンス (於：吉田泉殿)
4 月 10 日： 野生動物研究センター協議員会，大学院系 (分科) 会議 (於：吉田泉殿)
4 月 13 日： 京都市「動物園大好き市民会議」第 1 回専門委員会 (於：京都市動物園)
4 月 15 日： 第 10 回京都市動物園連絡会議 (於：京都市動物園)
4 月 18 日： 京都市動物園の類人猿舎完成記念式典
4 月 23 日： GAIN (Great Ape Information Network) 協議委員会 (於：東京駅サピアタワー)
4 月 29 日： よこはま動物園ズーラシア・チンパンジー施設完成式典 (於：ズーラシア)
5 月 2 日： 第 23 回 IPS (国際霊長類学会) 大会委員長会議 (於：キャンパスプラザ京都)
5 月 7 日： 京大国際シンポジウム「学術研究における映像実践の最前線」企画展示委員会 (於：京大博物館)
5 月 10 日： 幸島野外実習 (～17 日)
5 月 17 日： CSU (チンパンジー・サンクチュアリ・宇土) 実習 (～18 日)
5 月 14 日： ヒトと動物の関係学会・編集委員会 (於：京大野生動物研究センター)
5 月 19 日： 京都市「動物園大好き市民会議」第 2 回専門委員会 (於：京都市動物園)
5 月 20 日： 第 11 回京都市動物園連絡会議 (於：京都市動物園)
5 月 22 日： 野生動物研究センター協議員会，大学院系 (分科) 会議 (於：吉田泉殿)
5 月 29 日： 霊長研・野生動物合同京都講座 (於：吉田南 4 号館)
5 月 31 日： 名古屋市東山動物園連絡会議 (於：東山動物園)
6 月 2 日： 野生動物研究センター連携協議会 (於：吉田泉殿)
6 月 12 日： 野生動物研究センター協議員会，大学院系 (分科) 会議 (於：吉田泉殿)
6 月 13 日： SAGA (アフリカ・アジアの大型類人猿を支援する集い) 世話人会 (於：ビジネスホテル新名)
6 月 15 日： 名古屋市東山動物園連絡会議及び東山ワークショップ (於：東山動物園)
6 月 16 日： 京都市「動物園大好き市民会議」第 3 回専門委員会 (於：京都市動物園)
6 月 19 日： 第 12 回京都市動物園連絡会議 (於：京都市動物園)
6 月 23 日： 広島市安佐動物公園視察及び研究打ち合わせ (於：安佐動物公園)
7 月 2 日： 京大国際シンポジウム「学術研究における映像実践の最前線」運営委員会 (於：京大博物館)
7 月 10 日： 野生動物研究センター協議員会，大学院系 (分科) 会議 (於：吉田泉殿)
7 月 11 日： 第 5 回 CSU 運営委員会 (於：CSU)
7 月 13 日： 京都市「動物園大好き市民会議」第 4 回専門委員会 (於：京都市動物園)
7 月 14 日： 名古屋市東山動物園連絡会議 (於：東山動物園)
7 月 15 日： 第 13 回京都市動物園連絡会議 (於：京都市動物園)
7 月 20 日： 第 23 回 IPS (国際霊長類学会) 大会委員長会議 (於：中部学院大学)
7 月 22 日： 京大国際シンポジウム「学術研究における映像実践の最前線」プレセミナー (於：京大博物館)
7 月 24 日： gCOE 国際シンポジウム (国際交流センター) (～25 日)
8 月 4 日： 大学院修士課程 入学試験 (於：理学研究科) (～5 日)
8 月 5 日： 大学院系 (分科) 会議 (於：理学研究科)
8 月 14 日： 新「京都市動物園構想」最終報告書提出 (於：京都市庁舎)
8 月 24 日： 名古屋市東山動物園連絡会議及び東山ワークショップ (於：東山動物園)
8 月 29 日： 自然学セミナー (於：吉田泉殿)

- 9月16日：第14回京都市動物園連絡会議（於：京都市動物園）
 9月17日：ヒトと動物の関係学会常任理事会（於：東大駒場）
 9月19日：科学カフェ京都講演（於：楽友会館）
 9月24日：名古屋市東山動物園連絡会議（於：東山動物園）
 10月7日：第23回IPS（国際霊長類学会）事務局会議（於：理学2号館）
 10月9日：財団法人名古屋みなと振興財団（名古屋港水族館）との学術交流協定の調印式
 10月9日：名古屋市東山動物園連絡会議（於：東山動物園）
 10月13日：京都市「動物園大好き市民会議」第5回専門委員会（於：京都市動物園）
 10月16日：野生動物研究センター協議員会，大学院系（分科）会議（於：吉田泉殿）
 10月16日：横浜市立よこはま動物園との連携協定の調印
 10月20日：名古屋市東山動物園連絡会議及び東山ワークショップ（於：名古屋港水族館）
 10月21日：第15回京都市動物園連絡会議（於：京都市動物園）
 10月23日：新「京都市動物園構想」最終報告書受領式（於：京都市庁舎）
 11月3日：名古屋市東山動物園講演会（於：東山動物園）
 11月11日：日本動物園水族館協会第16回種保存会議（於：平安会館）（～12日）
 11月14日：GAIN協議委員会（於：北九州市立大学）
 11月14日：SAGA12シンポジウム（於：北九州市立大学・到津の森公園）（～15日）
 11月13日：野生動物研究センター協議員会，大学院系（分科）会議（於：吉田泉殿）
 11月18日：第16回京都市動物園連絡会議（於：京都市動物園）
 11月28日：自然学セミナー（於：吉田泉殿）
 12月1日：野生動物研究センター連携協議会（於：吉田泉殿）
 12月4日：野生動物研究センター協議員会，大学院系（分科）会議（於：吉田泉殿）
 12月7日：ドイツ霊長類学会長期継続フィールド・シンポジウム（於：ゲッティンゲン，ドイツ）（～12日）
 12月11日：第13回京都大学国際シンポジウム「学術研究における映像実践の最前線」（於：京都大学百周年時計台記念館・百周年記念ホール）（～13日）
 12月16日：第17回京都市動物園連絡会議（於：京都市動物園）
 12月21日：野生動物研究センター幸島観察所写真展示（於：時計台記念館・京大サロン）（～2月21日）
- 2010年 1月10日：ヒトと動物の関係学会・関西学生院生発表会（於：京大会館）
 1月15日：野生動物研究センター協議員会，大学院系（分科）会議（於：吉田泉殿）
 1月18日：名古屋市東山動物園連絡会議及び東山ワークショップ（於：東山動物園）
 1月19日：第18回京都市動物園連絡会議（於：京都市動物園）
 1月20日：マレーシアサバ大学熱帯生物学・保全研究所との協定書（霊長類研究所との三者協定）
 1月23日：第6回CSU運営委員会（於：ホテル・ル・ウエスト名古屋）
 1月28日：熊本市との連携協定の調印式（於：熊本市庁舎）
 1月29日：第23回IPS（国際霊長類学会）大会委員長会議（於：キャンパスプラザ京都）
 2月2日：京大時計台サロントーク（於：時計台サロン）
 2月9日：日動水・中四国ブロック園館長会議（於：しものせき水族館・海響館）（～10日）
 2月12日：野生動物研究センター協議員会，大学院系（分科）会議（於：吉田泉殿）
 2月18日：マレーシア・ボルネオ島，ダナンバレー拠点完成式典（於：ダナンバレー）
 2月23日：第19回京都市動物園連絡会議（於：京都市動物園）

- 2月24日：大学院博士後期課程 入学試験 (於：理学研究科)
- 2月25日：大学院系 (分科) 会議 (臨時) (於：理学研究科)
- 2月27日：自然学セミナー (於：吉田泉殿)
- 3月6日：ヒトと動物の関係学会第16回学術大会 (於：東京大学弥生講堂) (～7日)
- 3月10日：野生動物研究センター協議員会，大学院系 (分科) 会議 (於：支援機構)
- 3月13日：京大附置研・センター・シンポジウム (於：アクロス福岡)
- 3月15日：名古屋市東山動物園連絡会議及び東山ワークショップ (於：東山動物園)
- 3月17日：第20回京都市動物園連絡会議 (於：京都市動物園)
- 3月19日：タンザニア・マハレ調査隊員会議 (於：京大会館)
- 3月20日：京大 WRC－京都市動物園連携2周年記念事業 (於：京都市動物園) (～22日)
- 3月22日：京大国際シンポジウム・HOPE-GM (於：京大時計台) (～23日)
- 3月24日：タンザニア・ウガラ調査隊員会議 (於：野生動物研究センター)

6. 教育活動

全学共通科目

- 野生動物研究のすすめ I (AB 群・前期)
- 野生動物研究のすすめ II (AB 群・後期)

ポケット・ゼミ

- 野生動物と動物園科学 (AB 群・前期集中)

大学院生向け講義

- 野生動物概論 (集中)
- 野生動物基礎論 I (前期集中)
- 野生動物基礎論 II (前期集中)
- 野生動物基礎論 III (前期集中)
- 野生動物基礎論 IV (前期集中)
- 野生動物基礎論 V (前期集中)
- 野生動物基礎論 VI (前期集中)
- 野生動物特論 (後期集中)
- 野生動物ゼミナール IA (前期)
- 野生動物ゼミナール IB (後期)
- 野生動物ゼミナール IIA (前期)
- 野生動物ゼミナール IIB (後期)
- 霊長類学・野生動物特殊研究 IA (前期)
- 霊長類学・野生動物特殊研究 IB (後期)
- 霊長類学・野生動物特殊研究 IIA (前期)
- 霊長類学・野生動物特殊研究 IIB (後期)

その他

- 京大博物館夏休み学習教室「DNA を抽出しよう」 2009 年 8 月 7 日 (村山美穂).
- 遺伝子から動物の心を探る. 岡山操山中学校生徒 4 名の研究室訪問 (講義と実験室見学). 2009 年 11 月 5 日 (村山美穂).

7. 外部資金

科学研究費補助金

受入者	代表／ 分担	種別	研究課題名	金額(千円：直 接／間接)
伊谷原一	分担	基盤B	ボノボを中心とするヒト上科霊長類の筋骨格構造から読み解く環境適応 (代表：日本モンキーセンター・清水大輔)	150／45
幸島司郎	代表	基盤B	雪氷中の微生物活動が氷河アルベドに及ぼす影響評価	2,900／870
幸島司郎	分担	基盤B	日本近海に生息するミナミハンドウイルカの生態解明と保全のための基礎的研究 (代表：三重大・吉岡基)	1,200／360
村山美穂	代表	基盤B	希少野生動物のDNA Zooと遺伝子解析による行動予測システムの構築	4,100／1,230
村山美穂	分担	基盤B	パンのかけらで何がわかる！—発酵食品の機能性成分と微生物遺伝子解析 (代表：岐阜大・長野宏子)	650／195
田中正之	代表	基盤C	チンパンジーのカテゴリー認識に及ぼすラベル化の効果に関する比較心理学的研究	800／240
田中正之	分担	特 別 推 進	認知発達の霊長類的基盤 (代表：霊長研・松沢哲郎)	4,000
田中正之	分担	基盤B	表象形成の多様性，多重性，階層性—比較認知発達科学からのアプローチ (代表：霊長研・友永雅己)	300
中村美知夫	代表	若手B	野生チンパンジーの隣接二集団間の文化比較	1,200／360
中村美知夫	分担	基盤S	資源利用と闘争回避に関する進化人類学的研究 (代表：理・山極寿一)	1,500／450
中村美知夫	分担	基盤A	野生チンパンジーにおける文化的行動の発達と新奇行動の流行現象 (代表：日本モンキーセンター・西田利貞)	770／231
森村成樹	代表	挑 戦 的 萌芽	環境教育装置としての動物園の機能解析	800
森村成樹	分担	基盤B	ヒトおよび霊長類がおこなう対象・身体・空間のイメージ操作の進化的理解に関する研究 (代表：名古屋大・川合伸幸)	500／150
伊藤詞子	代表	若手A	チンパンジー社会における社会的カテゴリーとそれをめぐる人間の語り	移替：2,632／789
森阪匡通	代表	特別研究 員奨励費	動物の群れの意志決定と維持機構	1,100
山田一憲	代表	特別研究 員奨励費	社会の寛容性が個体の行動に与える影響—ニホンザル 3 集団の比較研究	1,200
Boniface B. KAYANG (村山美穂)	代表	外国人特 別研究員 奨励費	ガーナの在来家畜家禽の遺伝的特性の評価	300

共同研究

研究課題	種別	金額(千円)
飼育ニホンザルのDNA解析およびデータベース作成	(財) 東京動物園協会 恩賜上野動物園	225

寄附金

受入者	寄附の目的	種別	金額(千円:直接/間接)
福祉長寿研究部門	寄附部門・福祉長寿研究部門に係る寄付	三和科学研究所寄附金	30,000/1,500
野生動物研究センター	野生動物研究センターに対する研究助成	尾池和夫	1,072
村山美穂	唾液及び糞中のDNA分析によるキリン種における亜種判別法の確立に対する研究助成	(社) 日本動物園水族館協会助成金	300/9
中村美知夫	ヒトを含む霊長類における社会的インタラクションの研究	稲盛財団助成金	1,000/30

8. グローバル COE としての活動

2007 年度より採択された京都大学グローバル COE プログラム「生物の多様性と進化研究のための拠点形成ーゲノムから生態系まで」により、以下の活動をおこなっている。

- 1) フィールドサイエンス, ゲノムサイエンスのカリキュラム化
理学研究科・グローバル COE 特別講座による、屋久島フィールド科学実習に大学院生が参加した。
- 2) キャリアパスセミナーの開催
動物園、水族館に就職した卒業生を招聘して講演会をおこない、研究の経験を生かした職業についての情報を提供した。
- 3) 霊長類遺伝子多型の塩基配列解析とデータベース化
霊長類研究所で飼育しているチンパンジーの、個体別の神経伝達関連の遺伝子型をデータベースに登録・公開した。
- 4) 「生き物たちのつづれ織り」第 3 巻への執筆
教員 2 名, ポスドク 1 名, 大学院生 1 名が執筆した。

9. HOPE プロジェクト

日本学術振興会先端研究拠点事業HOPE

HOPE とは、そのプロジェクト名「人間の進化の霊長類的起源 (Primate Origins of Human Evolution)」の英文題目のアナグラム (頭文字を並べ替えたもの) である。地球上の動物種の中で、人間ともっとも近縁な人間以外の霊長類に焦点を当て、「われわれ人間はどこから来たのか」「人間の本性とは何か」といった根源的な問いに答えるための研究をおこなう。

先端拠点事業とは、我が国と複数の学術先進国における先端研究拠点間の交流を促進することにより、国際的な先端研究ネットワークを構築し、戦略的共同研究体制を運営するものである。京都大学霊長類研究所と野生動物研究センターの 2 部局の共同事業である。HOPE 事業については、HOPE のホームページを参照 (<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/hope/index-j.html>)

1. 日本学術振興会若手研究者国際・トレーニング・プログラム (ITP)

「人類進化の霊長類的起源の解明に向けた若手研究者育成国際プログラム (ITP-HOPE)」

ITP とは、日本の大学院学生、ポスドク、助教等の若手研究者が海外で活躍・研鑽する機会の充実強化を目指して、日本学術振興会が実施している事業である。

ITP-HOPEは平成21年度から25年度まで実施される。霊長類研究所と野生動物研究センターの若手研究者が助成対象となる。

本年度、平成22年度にITP-HOPEに採択され、研修および海外調査を実施した野生動物研究センターの若手研究者の事業計画は以下のとおりである。

事業番号	氏名	研究内容	期間
21-003	藤澤道子	野生チンパンジーの老化にともなう身体機能・社会的役割の変化を観察する	2009/6/23～9/16
21-010	森村成樹	野生動物の福祉に関する行動学的研究	2009/9/5～11/29
21-011	松川あおい	ヤマアラシ類を中心とした熱帯雨林の林床に生息する哺乳類に関する研究	2010/1/22～3/27
21-012	岸尚代	オオカミの生態や生息地を調査し、遺伝子解析試料やデータを収集する	2009/10/4～12/6
21-013	飯田恵理子	疎開林に棲息する野生動物の行動と生態に関する研究	2009/8/26～12/21
21-014	安井早紀	ゾウにおいて行動や性格に関する遺伝子の解析をおこない、海外の研究者との情報交換をおこなう。	2009/9/20～11/21

2. 日本学術振興会先端学術研究人材養成事業

「人間の進化の霊長類的起源：ゲノムから心まで (HOPE-GM)」

国立大学共同利用機関、国私立大学の共同利用・共同研究拠点、世界トップ5拠点(WRI)の中から、人文・社会科学、医学・生命科学、理工学の分野を問わず15程度の事業が選抜された。世界的に著名な研究者を海外から招いて日本の若手研究者と交流するプログラムである。

2009年度HOPE-GM事業は、以下の3名の著名な研究者を招聘した。

Svante Paabo (Max Planck Institute of Evolutionary Anthropology, Germany)

来日期間：2010年2月11日～3月6日まで

Frans de Waal (Living Links, Yerkes Primate Center, Emory University, USA)

来日期間：2010年3月6日～3月27日まで

William McGrew (Leverhulme Centre for Human Evolutionary Studies, University of Cambridge, UK)

来日期間：2010年3月18日～4月12日まで

HOPE-GMでは以上の著名研究者に加えて、8名の外国人若手研究者(ポスドクないし大学院生)を同時期に招聘した。

これらの招聘外国人研究者を迎えて、HOPE-GM国際シンポジウムを開催した。

HOPE-GM 国際シンポジウム

“HOPE-GM Lectures on primate mind and society”

主催：京都大学霊長類研究所

開催日：2010年3月22日～23日

開催場所：京都大学時計台国際会議室

3. 日本学術振興会組織的な若手研究者等海外派遣プログラム

「人間の本性の進化的起源に関する先端研究 (AS-HOPE)」

「組織的な若手研究者等海外派遣プログラム」は、我が国の大学等学術研究機関、国公立試験研究機関等が、我が国の若手研究者等(学部学生、大学院生、ポスドク、助手、助教、講師及びこれらに相当する職の者)を対象に、海外の研究機関や研究対象地域において研究をおこなう機会を組織的に提供する事業に対して助成することにより、我が国の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を養成することを目指して、平成21年度の補正予算により交付される補助金として措置されることとなった基金である。

10. 動物園・水族館との連携 (研究, 教育, 連携協定など)

京都市動物園

- 1) チンパンジー生息地研修 (タンザニア)
京都市動物園から松永雅之氏, 岡橋要氏, CSUから森裕介氏が参加して, ゴンベ国立公園等で研修をおこなった。
- 2) CSU飼育研修
京都市動物園の釜鳴宏枝飼育員が参加。
- 3) 連携2周年記念事業「野生動物学のすすめ」(於:京都市動物園)
2010年3月20日~22日
講演: 田中正之「野生動物研究から見えてくる人間らしさ」
村山美穂「DNAから見る動物たち」
岡橋要 研修報告「タンザニアに野生動物を訪ねて」
NPOブース展示: マハレ野生動物保護協会, ポレポレ基金, 市民Zooネットワーク, ボルネオ保全トラスト, サンクチュアリ・プロジェクト
- 4) 動物園での小講演活動
毎月1回, 通年で田中正之が実施。チンパンジー研究の解説を中心に, 動物園でおこなっている研究について紹介した。
- 5) 京都市動物園との連絡協議会
京都市動物園において野生動物研究センターがおこなう研究や教育の内容について, 報告や協議をおこなった。2009年度は8月を除いて毎月開催した。
- 6) チンパンジー, テナガザル, マンドリルを対象とした比較認知科学的研究
- 7) アジアゾウの夜間行動の観察
- 8) ブラジルバクの周産期行動の観察
- 9) ヤブイヌの周産期行動の観察
- 10) フサオマキザルの空間利用と社会関係の観察
- 11) ニシゴリラの採食エンリッチメントに関する研究
- 12) ゾウの性格関連遺伝子の解析
- 13) キリンの亜種判別
- 14) 類人猿の性格関連遺伝子の解析

名古屋市東山動植物園

- 1) チンパンジー放飼場のタワー設置への協力
- 2) チンパンジー新展示施設「パンラボ」設置および運営への協力
- 3) ニホンザル新展示施設建設への協力
- 4) 東山ワークショップの共催 (2ヶ月に一度)
DNA Zooを用いた野生動物研究. 2010年1月18日 (村山美穂)
- 5) 国際シンポジウム「生物多様性と動物園・水族館」共催のための打ち合わせ会の開催 (2ヶ月に一度)
- 6) オオカミの視覚コミュニケーションに関する研究
- 7) ゾウの性格関連遺伝子の解析

名古屋港水族館

- 1) 学術交流協定の締結
- 2) 国際シンポジウム「生物多様性と動物園・水族館」共催のための打ち合わせ会の開催 (2ヶ月に一度)

- 3) イルカ飼育個体の遺伝子と性格の関連. 名古屋港水族館研究連絡会 2010年3月25日 (村山美穂)
- 4) 名古屋港水族館を中心とした水族館飼育のカマイルカとタイマイの遺伝学的解析. 名古屋港水族館研究連絡会 2010年3月25日 (早野あづさ)

よこはま動物園ズーラシア

- 1) チンパンジー施設完成式典
- 2) 連携協定の調印
- 3) アースデイ in ズーラシア 2009年4月18日 参加者 30名 (森村成樹)
- 4) チンパンジー宿題教室第1回 2009年8月1日 参加者 20名 (森村成樹)
- 5) チンパンジー宿題教室第4回 2009年8月22日 参加者 20名 (森村成樹)

横浜市野毛山動物園

- 1) チンパンジー宿題教室 2009年8月2日 参加者 20名 (森村成樹)
- 2) キリンの亜種判別

熊本市動植物園

- 1) チンパンジー新施設建設打ち合わせ・協力 (2009年12月2日, 17日, 2010年2月19日, 3月4日, 17日)
将来の繁殖拠点形成を視野に入れた施設設計と新たな複雄複雌集団の形成について検討している。
- 2) チンパンジー飼育技術の協力
- 3) 連携協定の調印
- 4) キリンの亜種判別

東京都恩賜上野動物園

- 1) イヌワシの遺伝的多様性の解析
- 2) ゾウの性格関連遺伝子の解析
- 3) キリンの亜種判別
- 4) 鳥類のドーパミン受容体遺伝子の多様性
- 5) ニホンザルの血縁解析
- 6) 類人猿の性格関連遺伝子の解析

大阪市天王寺動物園

- 1) イヌワシの遺伝的多様性の解析
- 2) ゾウの性格関連遺伝子の解析
- 3) キリンの亜種判別
- 4) 鳥類の性判別

秋田市大森山動物園

- 1) イヌワシの遺伝的多様性の解析
- 2) ゾウの性格関連遺伝子の解析
- 3) キリンの亜種判別
- 4) 鳥類の性判別

広島市安佐動物公園

- 1) ハイラックスの行動観察

- 2) ゾウの性格関連遺伝子の解析
- 3) キリンの亜種判別
- 4) 鳥類の性判別

愛媛県立とべ動物園

- 1) クロサイの嗅覚コミュニケーションに関する研究
- 2) ゾウの性格関連遺伝子の解析
- 3) キリンの亜種判別

多摩動物公園

- 1) オオカミの視覚コミュニケーションに関する研究
- 2) イヌワシの遺伝的多様性の解析
- 3) キリンの亜種判別

仙台市八木山動物公園，盛岡市動物公園

- 1) イヌワシの遺伝的多様性の解析
- 2) ゾウの性格関連遺伝子の解析
- 3) キリンの亜種判別

姫路市立動物園

- 1) ゾウの性格関連遺伝子の解析
- 2) キリンの亜種判別
- 3) 鳥類の性判別

福岡市動物園

- 1) キリンの亜種判別
- 2) 類人猿の性格関連遺伝子の解析

鹿児島市平川動物公園

- 1) キリンの亜種判別
- 2) 鳥類の性判別

姫路セントラルパーク，群馬サファリパーク，池田動物園，横浜市立金沢動物園，日立市かみね動物園，とくしま動物園，秋吉台自然動物公園，周南市徳山動物園，千葉市動物公園

- 1) ゾウの性格関連遺伝子の解析
- 2) キリンの亜種判別

神戸市立王子動物園

- 1) ゾウの性格関連遺伝子の解析

宮島水族館，海の中道水族館，しものせき海響館

- 1) スナメリの社会行動に関する研究

松島水族館

- 1) イロワケイルカの音声行動に関する研究

大分マリーンパレス水族館「うみたまご」

1) 鳥類の性判別

沖縄こども未来ゾーン, 羽村市動物公園, 伊豆バイオパーク, 長崎バイオパーク, 桐生が丘動物園, 静岡市立日本平動物園, 佐世保市亜熱帯動植物園, おびひろ動物園, いしかわ動物園, 南紀白浜アドベンチャーワールド, 釧路市動物園, 那須サファリパーク, 東北サファリパーク, 長野市茶臼山動物園, 浜松市動物園, 岩手サファリパーク, 到津の森公園, 富士自然動物公園, 高知県立のいち動物園協会, 旭川市旭山動物園, (財) 富山市ファミリーパーク公社, 豊橋総合動植物公園, 埼玉県こども動物自然公園, 大牟田市動物園, 富士自然動物公園, 宮崎市フェニックス自然動物園, 宇都宮動物園, 市原ぞうの国, 札幌市円山動物園

1) キリンの亜種判別

11. 京都市や地域との連携

- 1) 新「京都市動物園基盤構想」策定のための専門委員会議長として伊谷原一が、市民会議準備委員会委員として、田中正之が加わった。
- 2) 2009年10月に伊谷センター長から門川大作京都市長に、策定された新「京都市動物園基盤構想」が提出された。
- 3) 洛北高校スーパー・サイエンス・ハイスクール事業へ協力した。
 - ・講演 (幸島司郎)
 - ・動物園での実習 (10月22～23日, 各日40名)
- 4) 市内の中学, 高校, 大学における動物園での課外学習に協力した。
 - ・同志社女子中学 (40名)
 - ・京都女子中学 (40名)
 - ・同志社中学 (6名)
 - ・京都大学技術職員研修会 (50人)

12. 国内研究拠点・国内機関との共同研究

幸島観察所

1) 幸島ニホンザルに関する報告

幸島観察所においては例年通り、宮崎県幸島に生息する野生ニホンザルを対象に個体データの蓄積、各個体の体重測定をおこなった。今年度は出産数10頭(内2頭死産で8頭生存)、死亡数6頭(内2頭は死産)で増加数は4頭であった。2010年3月末の個体数は112頭である。死亡個体の内新生児2頭を除けば全て20歳以上の老齢個体である。この他にもまだ数頭の老齢個体が生存しているため、現在112頭と若干頭数が増加しているがしばらくすると100頭前後に落ち着くものと考えられる。死亡した個体はユズ、ポニー、ゴボウ、モミの4頭であり、寒さの厳しくなった12～3月に死亡している。

第一位のオスはホタテで変わりは無いが、ホタテが21歳になり高齢となっているため時期の第一位のオスが誰になるのか今後の注目すべき点である。

2) 施設に関する報告

今年度は幸島島内の観察小屋の施設を充実させる事ができた。長期滞在する研究者の為にシャワー室を設置した。また、今まで発電機を主に使用していたが騒音や燃料・トラブルの問題があるため、ソーラー発電設備を設置した。夏季には4～5時間の電灯や充電をまかなう事がで

きるだけの電力が得られる。しかし、冬季では 2 時間程度で、十分な電力を得られているとはいえない。今後の課題である。

3) 研究・教育に関する報告

研究では野生動物研究センター原澤牧子が長期的な調査をおこなったことを始め、霊長類研究所の松岡絵里子氏、大分市教育委員会の栗田博之氏などが幸島の野生ニホンザルを対象に研究をおこなった。

本年度も、大学院生による長期調査、大学院生、大学生対象の野外実習などがおこなわれた。その他、約 20 名の研究者が視察に訪れた。また、小学生や一般を対象とした自然観察会が幸島で開催され、これに全面的に協力した。国内外のマスコミの取材が 5 件あり、取材に協力した。

屋久島観察所

本年度も大学院生を中心に活発に研究がおこなわれた。また、京都大学グローバル COE プログラム「生物の多様性と進化研究のための拠点形成」によるフィールド科学実習がおこなわれた。

施設整備としては、バイクが収納できる倉庫の設置、実験室のエアコン設置、室内の収納の改善、カラーレーザープリンターの導入などをおこなった。また、観察所のある永田地区では、これまで ISDN しか利用できなかったが、本年度 3 月より ADSL が利用可能になったため、これを導入した。

独立行政法人理化学研究所

「霊長類（マカクサル・マーモセット）の遺伝子多型と分子イメージングとの関連」に関する研究契約をおこなった。

13. 共同研究者訪問履歴表

訪問日	終了日	日数	所属	職	人数	訪問目的
2009/4/12	2009/4/17	6	東京大学	学生	1	チンパンジーの観察
2009/6/8	2009/6/12	5	東京大学	学生	1	チンパンジーの観察
2009/8/17	2009/9/11	10	エジンバラ大学	学生	1	ニホンザルの性格調査
2009/10/5	2009/10/16	12	東京大学	学生	1	秋田犬の遺伝子解析
2009/11/5		1	岡山操山中学校	学生	4	見学
2009/11/30	2009/12/2	3	静岡大学	学生	2	ニワトリ、カラスの遺伝子解析
2009/12/10	2009/12/11	2	岐阜大学	学生	1	イーストの遺伝子解析
2009/12/10	2009/12/11	2	岐阜大学	教授	1	イーストの遺伝子解析
2009/12/21		1	東京大学	学生	1	ネコの研究打ち合わせ
2009/12/21		1	中部大学	教授	1	ネコの研究について見学
2009/12/21		1	中部大学	学生	2	ネコの研究について見学
2010/3/9	2010/3/12	4	チューリヒ大学	研究生	1	見学
2010/3/19		1	岡山大学	学生	1	見学
2010/3/23		1	ケンブリッジ大学	研究員	1	見学
計		50			19	

14. 海外拠点・海外機関との研究交流等

マレーシア・ダナンバレー拠点

マレーシア・サバ州・ダナンバレー保護区に調査基地 Kuala Sungai Danum Research Station を開設。2月18日にサバ財団、サバ大学の関係者を招いてオープニングセレモニーをおこなった。

タンザニア拠点

タンザニアには、京都大学アフリカ類人猿調査拠点、アフリカ人類学・生物学研究フィールドセンター、およびウガワ野生動物フィールド研究拠点がある。これらの拠点を利用して以下の研究をおこなった。

- 1) サバンナウッドランドにおけるチンパンジーをはじめとする野生動物の生態学的研究
- 2) マハレ山塊における野生チンパンジー・大型哺乳動物の社会・生態学的研究

ガーナ大学との研究者交流

経費：平成21年度「協定・覚書等に基づく研究者交流支援」

派遣者：村山美穂

日程：平成22年2月2日～19日

2009年2月に、ガーナ大学農業消費科学部と野生動物研究センターとの間で、学術交流に関する協定を締結したことに伴い、上記の交流支援が得られた。

今回の派遣では、ガーナ大学の研究者および学生にセミナーをおこなって、京都大学や野生動物研究センターについて説明した。また学部生を対象に、遺伝子解析実験の授業をおこなった。また国立公園、保護区、農場、市場を訪問して、霊長類、有蹄類、齧歯類、鳥類などの動物の生息環境や資源利用の状況を調査した。さらにガーナ大学副学長、野口記念医学研究センター、JICA、日本大使館を訪問して、研究成果の社会還元について助言を得た。

それらの情報をもとに、農学および動物保全学の研究者と話し合い、今後も学生および研究者の交流を活発におこない、ガーナの重要なタンパク源であるグラスカッター（ケーンラット）の家畜化を目指した遺伝マーカーの開発、ガーナ大学の動物保全分野に保管されている各種野生動物試料からのDNA抽出と遺伝的多様性の解析およびデータベース作成、野生動物、特に鳥類や哺乳類の希少種の生態調査や病気感染調査、に関する共同研究をおこなう計画を立てた。

15. 海外渡航

氏名	日程	用務先 (国名)	用務	費用
松川あおい	2009/5/9～6/1	ボルネオ地区 (インドネシア)	ボルネオの野生動物に関する研究	私費
山本友紀子	2009/6/2～7/31	アリューシャン列島(アメリカ)・ベーリング界限 (ロシア)	北海道大学の調査船に同乗し野生動物に関する共同研究をおこなう	その他
Tatyana Humle	2009/5/22～28	ライプツィヒ (ドイツ)	The Great Apes Survival Partnership (GRASP) Scientific Committee Meeting	先方負担
中村美知夫	2009/5/26～7/3	タンザニア野生動物研究所・マハレ山塊公園 (タンザニア)	野生動物研究資料収集	科研費

藤澤道子	2009/6/23 ～9/16	ボッソウ村周辺 (ギニア)	野生チンパンジーの観察・ボッソウ村 高齢住民の健康にまつわる調査	ITP-HOPE
Tatyana Humle	2009/8/11 ～23	チューリヒ大学 (スイス)	ヨーロッパ霊長類学会出席及び講演の ため	先方負担
伊谷原一	2009/8/26 ～9/10	ウガラ・ダルエスサラ ーム大学 (タンザニア)	野生動物に関する打合せ及び研究調 査	先方負担 (林 原生物化学 研究所)
飯田恵理子	2009/8/26 ～12/21	タンザニア野生動物 研究所 (タンザニア)	野生動物の行動生態調査のため	ITP-HOPE
森村成樹	2009/9/5～ 11/29	ボッソウ環境研究所 (ギニア)	野生動物の福祉に関する行動学的研 究	ITP-HOPE
中村美知夫	2009/9/7～ 10/24	マハレ山塊国立公園 (タンザニア)	チンパンジーの現地調査	科研費
村山美穂	2009/9/20 ～10/7	野生動物研究所 (ド イツ)・リエージュ大 学獣医学部 (ベルギ ー)	第7回国際野生動物行動生理遺伝学 会出席および研究打合せ	科研費
安井早紀	2009/9/20 ～11/21	野生動物研究所(ドイ ツ)・国立環境保全研 究所 (イタリア)	第7回国際野生動物行動生理遺伝学 会において研究資料収集および研究 打合せ	ITP-HOPE
岸尚代	2009/10/4 ～12/6	国立環境保全研究所 (イタリア)・野生動物 研究所 (ドイツ)	野生動物の行動生態および遺伝子解 析の研究打合せ、並びにオオカミの現 地調査	ITP-HOPE
山本友紀子	2009/10/8 ～19	ケベック州 (カナダ)	国際海棲哺乳類学会参加・発表のた め	gCOE 海外渡 航経費
吉田弥生	2009/10/8 ～19	ケベック州 (カナダ)	国際海棲哺乳類学会参加・発表のた め	gCOE 海外渡 航経費
Tatyana Humle	2009/10/25 ～12/31	パリ自然史博物館ほ か (フランス)・ボッ ソウ村周辺 (ギニア)	野生チンパンジーの生態調査・研究資 料収集・ワークショップ講演	運営費
幸島司郎	2009/11/14 ～12/20	パタゴニア北部氷床 域 (チリ)	氷河研究調査	科研費
松川あおい	2009/11/20 ～12/4	ダナンバレー調査基 地 (マレーシア)	ボルネオの野生動物に関する研究調 査のため	運営費
伊谷原一	2009/12/7 ～12	ドイツ霊長類センター (ドイツ)	「霊長類の長期フィールド研究」シン ポジウムに参加・発表	ITP-HOPE
中村美知夫	2009/12/7 ～12	ドイツ霊長類センター (ドイツ)	「霊長類の長期フィールド研究」シン ポジウムに参加・発表	ITP-HOPE
中村美知夫	2009/12/18 ～ 2010/1/20	マハレ山塊国立公園 (タンザニア)	野生動物の野外調査	若手研究者ス テップアップ 研究費
松川あおい	2010/1/22 ～3/27	ダナンバレー調査基 地 (マレーシア)	ボルネオの野生動物に関する研究調 査のため	ITP-HOPE
村山美穂	2010/2/2～ 19	ガーナ大学 (ガーナ)	学術交流協定に基づく動物遺伝資源 の保全と活用に向けた共同研究	国際交流推 進機構による 支援経費

藤澤道子	2010/2/4～ 3/6	西ニューギニア地域 (インドネシア)	西ニューギニア地域における神経変性 疾患の実態に関する縦断的研究	科研費
伊谷原一	2010/2/15 ～21	ダナンバレー調査基 地 (マレーシア)	ボルネオの野生動物に関する研究打 ち合わせ及び調査基地完成セレモ ニー出席のため	ITP-HOPE
幸島司郎	2010/2/16 ～23	ダナンバレー調査基 地 (マレーシア)	ボルネオの野生動物に関する研究打 ち合わせ及び調査基地完成セレモ ニー出席のため	ITP-HOPE
西江仁徳	2010/2/28 ～4/13	マハレ山塊国立公園 (タンザニア)	野生動物の野外調査	科研費
田中正之	2010/3/1～ 7	ダナンバレー調査基 地 (マレーシア)	ボルネオの野生動物に関する研究打 ち合わせ	ITP-HOPE

16. 自己点検評価

野生動物研究センターで、重点的に取り組んでいる項目について、自己点検評価の概要を述べたい。

動物園との連携、研究・教育の推進

着実に進んでおり評価できる。大学院生が動物園で研究をさせていただく機会が増えたことは一つの成果の現れといえるだろう。また、現職の動物園職員1名が、在職のまま大学院博士課程に在籍し、研究に従事した。チンパンジー・サンクチュアリ宇土から、動物園へのチンパンジーの導入も順調に進んだ。

海外研究拠点の整備、研究・教育の推進

ボルネオ、ダナムバレーでの調査拠点ができたことが評価できる。今後は、これを適切に運用し、研究の進展を図ることが課題であろう。タンザニアの調査拠点でも活発な研究がおこなわれた。ガーナ大学との研究交流が開始され、今後の研究の進展が期待できる。

国内研究拠点の整備、研究・教育の推進

幸島・屋久島の国内研究拠点では、活発な研究・教育活動がおこなわれた。稼働率も十分に高く、良く利用されたといっているだろう。DNA分析を中心とした共同利用研究も順調におこなわれた。

共同利用拠点として機能の充実

今年度、共同利用・共同研究拠点として申請をおこなった。今後、拠点化の認定を目指しつつ、それにふさわしい機能の充実を図っていくことが必要である。

スペースの拡充

京都でのスペースの拡充に努めてきたが、十分な解決には至っていない。今年度末に、これまで借用していた、学生支援機構を京都大学が購入したことにより、現状維持はできる見込みであるが、スペースが足りない状態は改善されていない。今後も人数が増えることが予想されるので、スペースの拡充は急務である。

その他

大学院生の多くが海外での調査・研究経験を積むことができたことは、評価できる。HOPE事業による、財政的支援によりこれが可能になった。

17. 2009 年度研究業績

執筆文章 (和文)

伊谷原一, 座馬耕一郎, 吉川翠, 小川秀司, 久世濃子, 鈴木晃, 金森朝子 (2009) 大型類人猿の分布と密度に関する研究. 環境省地球環境研究総合推進費終了研究成果報告書「大型類人猿の絶滅回避のための自然・社会環境に関する研究」環境省地球環境局総務課研究調査室 pp. 11-23.

伊谷原一 (2009) ワンパの住民はボノボをどのように見ているか. 「ヒトと動物の関係学会誌」23: 16-21.

伊谷原一 (2010) 進化の隣人に学ぶ. 「岡山の自然と文化—郷土文化講座から」29: 1-71.

伊藤詞子 (2009) チンパンジーの集団: メスから見た世界. 「集団—人類社会の進化」河合香吏 (編), 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 pp. 89-97.

伊藤詞子 (2010) 群れの移動はどのようにして始まるのか?—金華山の野生ニホンザル. 「インタラクションの境界と接統一サル・人・会話研究から」木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (編), 昭和堂, pp. 275-293.

伊藤詞子 (2010) 読解: 対面する者から対面することへ 木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (編) 「インタラクションの境界と接統一サル・人・会話研究から」木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (編), 昭和堂, p. 109.

井上-村山美穂, 伊藤慎一 (2009) DNA マーカーによる柴犬3種間の遺伝的分化と類縁関係. 「柴犬研究」135: 10-12.

井上-村山美穂 (2010) 多様な動物種における情動に関与する候補遺伝子の解析. 「医学のあゆみ」232(1): 44-49.

上野吉一, 森村成樹 (2009) 霊長類に対する福祉の配慮—その考え方と実践. 「霊長類研究」24: 385-393.

木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (編著) (2010) 「インタラクションの境界と接統一サル・人・会話研究から」昭和堂.

木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (2010) まえがき「インタラクションの境界と接統一サル・人・会話研究から」木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (編), 昭和堂, pp. i-ii.

木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (2010) あとがき「インタラクションの境界と接統一サル・人・会話研究から」木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (編), 昭和堂, pp. 400-401.

幸島司郎 (2009) 週間ママタイムズ もっと寄り道生物学 1 「夜の氷河にわくコオリミズ」. 「朝日小学生新聞」2009年4月4日.

幸島司郎 (2009) 週間ママタイムズ もっと寄り道生物学 2 「ピンクの氷河と黒い氷河」. 「朝日小学生新聞」2009年4月11日.

幸島司郎 (2009) 週間ママタイムズ もっと寄り道生物学

3 「氷河の上流を目指す虫」. 「朝日小学生新聞」2009年4月18日.

幸島司郎 (2009) 週間ママタイムズ もっと寄り道生物学 4 「ダニに部屋を提供するクスノキ」. 「朝日小学生新聞」2009年4月25日.

幸島司郎 (2009) 週間ママタイムズ もっと寄り道生物学 5 「外国から来たインコたち」. 「朝日小学生新聞」2009年5月2日.

幸島司郎 (2009) 週間ママタイムズ もっと寄り道生物学 6 「オオカミは『目で話す』?」. 「朝日小学生新聞」2009年5月9日.

幸島司郎 (2009) 週間ママタイムズ もっと寄り道生物学 7 「ネオンテトラはなぜ派手か?」. 「朝日小学生新聞」2009年5月16日.

幸島司郎 (2009) 週間ママタイムズ もっと寄り道生物学 8 「氷河の上で寄生虫退治?」. 「朝日小学生新聞」2009年5月23日.

幸島司郎 (2009) 週間ママタイムズ もっと寄り道生物学 9 「動物園, 水族館は研究にも大切な場所」. 「朝日小学生新聞」2009年5月30日.

幸島司郎 (2010) フィールド科学の展開—野生動物学, 「DVDブック カラコルム/花嫁の峰チョゴリザーフィールド科学のバイオニアたち」. 梅棹忠夫 (監修), 京都大学学術出版会.

幸島司郎 (2010) 空を巡る微生物. 「エアロゾル研究」25(1): 43-44.

杉浦秀樹 (2009) 動物の音声の研究してみよう. 「哺乳類科学」49: 117-120.

田中正之 (2009) 洛書「研究をとりまく多くの目」. 「京大広報」648: 2985.

中道正之, 山田一憲, 中川尚史 (2009) ニホンザルの稀な行動に関する情報の交換と集約. 「霊長類研究」25(1): 15-20.

中村美知夫 (2009) 日本大使がマハレを訪問. 「マハレ珍聞」14: 1.

中村美知夫 (2009) 霊長類の文化. 「霊長類研究」24: 229-240.

中村美知夫 (2009) 「チンパンジー—ことばのない彼らが語ること」中公新書.

中村美知夫 (2009) チンパンジーの暮らす森. 「森発見」15: 15.

中村美知夫 (2010) 霊長類学におけるインタラクション研究—その独自性と可能性. 「インタラクションの境界と接統一霊長類とヒトの事例から」木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (編), 昭和堂, pp. 19-26.

中村美知夫 (2010) 読解: 伸び縮みするインタラクションの場. 「インタラクションの境界と接統一霊長類とヒトの事例から」木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (編), 昭和堂, p. 183.

中村美知夫 (2010) 読解: ほかのやり方. 「インタラクションの境界と接統一サル・人・会話研究から」木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (編), 昭和堂, pp. 252-253.

中村美知夫 (2010) 読解: 「何もしない」ことをする. 「インタラクションの境界と接統一サル・人・会話研究から」木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (編), 昭和堂, p. 274.

- 中村美知夫 (2010) 読解: 共同的に創られる「楽しさ」.
「インタラクションの境界と接続—サル・人・会話研究から」 木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (編), 昭和堂, p. 316.
- 中村美知夫 (2010) 読解: インタラクションは「修復」されるか. 「インタラクションの境界と接続—サル・人・会話研究から」 木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (編), 昭和堂, pp. 338-339.
- 西江仁徳 (2009) 野生チンパンジーのフィールドで感じる〈質〉. 「質的心理学フォーラム」 1: 121-123.
- 西江仁徳 (2010) 相互行為は終わらない—野生チンパンジーの「冗長な」やりとり. 「インタラクションの境界と接続—サル・人・会話研究から」 木村大治, 中村美知夫, 高梨克也 (編), 昭和堂, pp. 387-396.
- 藤澤道子 (2009) ちびっ子チンパンジーと仲間たち (第96回) ボッソウ村に住むおばあさんチンパンジー. 「科学」 79: 1388-1389.
- 村山美穂 (2010) 行動と脳 (イヌの行動を遺伝子から解明する). 「シリーズ 脳とソシアル第2巻発達と脳 コミュニケーションの育成過程」 岩田誠, 河合満 (編), 医学書院, pp. 227-235.
- 村山美穂 (2010) DNA Zoo から見えること. 「生き物たちのつづれ織り」 3: 91-96.
- 森村成樹 (2009) 言葉によらない“歩み寄り”. 「児童虐待 おかやまから 116 人の提言」 おかやま児童虐待事例研究会人出版 (編), 吉備人出版, pp. 264-265.
- 森阪匡通 (2009) 聞こえない音をどう使う? —イルカとワカモノの共通点. 「動物たちの不思議に迫る バイオロギング」 日本バイオロギング研究会 (編), 京都通信社, pp. 80-81.
- 森村成樹, 藤澤道子, 野上悦子, 鶴殿俊史, 小林久雄, 伊谷原一, 松沢哲郎 (2009) ちびっ子チンパンジーと仲間たち (第91回)—チンパンジー・サンクチュアリ・宇土の2年間. 「科学」 79: 798-799.
- 安井早紀, 今野晃嗣, 田中正之, 伊谷原一, 村山美穂 (2010) ゴウの性格評定と関連遺伝子の探索. 「ヒトと動物の関係学会誌」 25: 29.
- 山田一憲 (2009) 旧世界ザルにおける社会的知性—生態学的側面と発達の側面に注目して. 「動物心理学研究」 59: 199-212.
- 山田一憲 (2009) 自由集会報告: ニホンザルの稀な行動に関する情報の交換. 「霊長類研究」 25: 80-81.
- 森阪匡通 (2009) 書評. 『日本の哺乳類学3. 水生哺乳類 (加藤秀弘[編])』 「哺乳類科学」 49: 188-190.
- 森阪匡通 (2009) イルカの音声コミュニケーションとその制約要因. 「哺乳類科学」 49: 121-127.
- tional Park, Tanzania. *Primates* 50:184-189.
- Dillis C, Humle T, Snowdon CT. (2009) Socially-biased learning among cottontop tamarins (*Saguinus oedipus*). *American Journal of Primatology* 71:1-9.
- Fujisawa M, Matsubayashi K, Souma AG, Kasahara Y, Nakatsuka M, Matsuzawa T. (2010) Farsightedness (presbyopia) in a wild elderly chimpanzee: The first report. *Geriatrics & Gerontology International* 10: 113-114.
- Hayashi M, Sekine S, Tanaka M, Takeshita H. (2009) Copying a model stack of colored blocks by chimpanzees and humans. *Interaction Studies* 10: 130-149.
- Hirata S, Morimura N, Houki C. (2009) How to crack nuts: acquisition process in captive chimpanzees (*Pan troglodytes*) observing a model. *Animal Cognition* 12: S87-S101.
- Hong K-W, Matsukawa R, Hirata Y, Hayasaka I, Murayama Y, Ito S, Inoue-Murayama M. (2009) Allele distribution and effect on reporter gene expression of vasopressin receptor gene (AVPR1a)-linked VNTR in primates. *Journal of Neural Transmission* 116: 535-538.
- Humle T. (2009) 'Fiche' chimpanze et methodes de denombrement et de suivie. In: Triplet P et al. (eds) *Manuel du Gestionnaire des Aires Protegees d'Afrique Francophone*.
- Humle T, Colin C, Raballand T. (2009) Preliminary report on hand-clasp grooming in sanctuary-released chimpanzees, Haut Niger National Park, Guinea. *Pan Africa News* 16: 7-10.
- Humle T, Snowdon CT, Matsuzawa T. (2009) Social influences on ant-dipping acquisition in the wild chimpanzees (*Pan troglodytes verus*) of Bossou Guinea, West Africa. *Animal Cognition* 12: 37-48.
- Ikedo T, Kohshima S. (2009) Why is the neon tetra so bright? Coloration for mirror-image projection to confuse predators? "Mirror-image decoy" hypothesis. *Environmental Biology of Fishes* 86(3): 427-441.
- Inoue-Murayama M. (2009) Genetic polymorphism as a background of animal behavior (review). *Animal Science Journal* 80: 113-120.
- Kayang BB, Inoue E, Maki T, Ito S, Kansaku N, Tanabe Y, Inoue-Murayama M. (2009) Genetic analyses of Ghanaian dogs: diversity and relationships with other breeds. *DNA Polymorphism* 17: 55-62.
- Minvielle F, Bed'hom B, Coville JL, Ito S, Inoue-Murayama M, Gourichon D. (2010) The "silver" Japanese quail and the MITF gene: causal mutation, associated traits and homology with the "blue" chicken plumage. *BMC Genetics* 11: 15
- Morimura N. (2009) Effect of a continuous drip feeder on feeding time of chimpanzees. *Shape of Enrichment* 18(1&2): 12-13.
- Morisaka T. (2009) Overview of comparative cognitive studies of dolphins in Japan. *Japanese Psychological Research* 51: 168-176.
- Nakamichi M, Yamada K. 2009. Distribution of dorsal

執筆文章 (英文)

- Corp N, Hayaki H, Matsusaka T, Fujita S, Hosaka K, Kutsukake N, Nakamura M, Nakamura M, Nishie H, Shimada M, Zamma K, Wallauer W, Nishida T. (2009) Prevalence of muzzle-rubbing and hand-rubbing behavior in wild chimpanzees in Mahale Mountains Na-

- carriage among simians. *Primates* 50: 153–168.
- Nakamura M. (2009) Aesthete in the forest? A female chimpanzee at Mahale collected and carried guinea-fowl feathers. *Pan Africa News* 16: 17–19.
- Nakamura M. (2009) Interaction studies in Japanese primatology: their scope, uniqueness, and the future. *Primates* 50: 142–152.
- Nakamura Miho. (2010) How can scientific research and TV production collaborate? Proceeding of the 13th Kyoto University International Symposium, pp. 52–54.
- Nakamura M., Nishida T. (2009) Chimpanzee tourism in relation to the viewing regulations at the Mahale Mountains National Park, Tanzania. *Primate Conservation* 24: 85–90.
- Sakai M, Morisaka T., Kogi K, Hishii T, Kohshima S. (2010) Fine-scale analysis of synchronous breathing in wild Indo-Pacific bottlenose dolphins (*Tursiops aduncus*). *Behavioural Processes* 83: 48–53.
- Scheihing R, Cardenas L, Nespolo RF, Krall P, Walz K, Kohshima S., Labarca P. (2010) Morphological and molecular analysis of centropagids from the high Andean plateau (Copepoda: Calanoidea). *Hydrobiologia* 637(1): 45–52.
- Takeuchi Y, Hashizume C, Arata S, Inoue-Murayama M., Maki T, Hart BL, Mori Y. (2009) An approach to canine behavioural genetics employing guide dogs for the blind. *Animal Genetics* 40: 217–224.
- Takeuchi Y, Kaneko F, Hashizume C, Masuda K, Ogata N, Maki T, Inoue-Murayama M., Hart BL, Mori Y. (2009) Association analysis between canine behavioural traits and genetic polymorphisms in the Shiba Inu breed. *Animal Genetics* 40: 616–622.
- Tanaka M., Uchikoshi M. (2010) Visual preference in a human-reared agile gibbon (*Hylobates agilis*). *Primates* 51: 63–67.
- Tanaka M., Yamamoto S. (2009) Token transfer between mother and offspring chimpanzees (*Pan troglodytes*): mother-offspring interaction in a competitive situation. *Animal Cognition* 12(S1): 19–26
- Ushida K, Segawa T, Kohshima S., Takeuchi N, Fukui K, Zhongqin Li, Kanda H. (2009) Application of real-time PCR array to the multiple detection of antibiotic-resistant genes in glacier ice samples. *Journal of General and Applied Microbiology* 56: 43–52.
- Weiss A, Inoue-Murayama M., Hong K-W, Inoue E, Udono T, Ochiai T, Matsuzawa T, Hirata S, King JE. (2009) Assessing chimpanzee personality and subjective well-being in Japan. *American Journal of Primatology* 71: 283–292.
- Yamamoto S, Humble T., Tanaka M. (2009) Chimpanzees help each other upon request. *PLoS ONE* 4(10): e7416.
- Yamamoto S, Tanaka M. 2009. Do chimpanzees (*Pan troglodytes*) spontaneously take turns in a reciprocal cooperation task? *Journal of Comparative Psychology*, 123(3): 242–249.
- Yamamoto S, Tanaka M. (2009) How did altruism and reciprocity evolve in humans?: Perspectives from experiments on chimpanzees (*Pan troglodytes*). *Interaction Studies* 10: 150–182.
- Yamamoto S, Tanaka M. (2009) Selfish strategies develop in social problem situations in chimpanzee (*Pan troglodytes*) mother–infant pairs. *Animal Cognition* 12(S1): 27–36.
- Yamamoto S, Tanaka M. (2010) The influence of kin relationship and reciprocal context on chimpanzees' other-regarding preferences. *Animal Behaviour* 79: 595–602.
- Yukimura K, Nakai R, Kohshima S., Uetake J, Kanda H, Naganuma T. (2009) Spore-forming halophilic bacteria isolated from Arctic terrains: Implications for long-range transportation of microorganisms. *Polar Science* 3(3): 163–169.

学会等での発表・講演 (日本語)

- 阿部秀明, 木下圭司, 水谷誠, 早川博, 葦澤圭二郎, 伊藤慎一, 村山美穂 (2009) ニワトリで見出されたセロトニントランスポーター遺伝子の VNTR 多型. 日本動物遺伝育種学会第 10 回大会 (2009/11, 前橋).
- 阿部秀明, 今野晃嗣, 村山美穂 (2009) ワシミズク属におけるドーパミン受容体 D4 遺伝子の多型. 日本 DNA 多型学会第 18 回学術集会 (2009/11, 久留米).
- 石黒雄大, 釜鳴宏枝, 長尾充徳, 山本裕己, 田中正之 (2009) 京都市動物園におけるフサオマキザルの空間利用と個体間距離. SAGA12 シンポジウム (2009/11, 北九州).
- 石黒雄大, 土田真一 (2009) 飼育下クモザル集団における“仲良し関係”—親和性と近接性との相互関係を探る. 第 25 回日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原).
- 伊谷原一 (2009) 進化の隣人にみる平和: ボノボの社会. 京都外国語大学・総合科目「言語と平和」(2009/06, 京都).
- 伊谷原一 (2009) 誤解される動物たち—マスコミにおける動物映像. 第 13 回京都大学国際シンポジウム「学術研究における映像実践の最前線」第 3 回映像実践セミナー (2009/07, 京都).
- 伊谷原一 (2010) 幸島の野生ニホンザル. 第 57 回京大サロントーク (2010/02, 京都).
- 伊藤詞子 (2009) ニホンザルおよびチンパンジーの遊動における性差. 第 63 回日本人類学会大会・進化人類分科会「霊長類における性差の発現」(2009/10, 東京).
- 井上英治, 井上-村山美穂, 高崎浩幸, 西田利貞 (2009) 長期政権を築いたオスチンパンジーの繁殖成功. 第 25 回日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原).
- 井上英治, 井上-村山美穂, 高崎浩幸, 西田利貞 (2009) チンパンジーにおける第一位オスの繁殖成功. 日本動物行動学会第 28 回大会 (2009/11, つくば).

- 上野将敬, 山田一憲, 中道正之 (2009) 飼育ニホンザル集団における攻撃交渉前の攻撃個体と被攻撃個体及び第3者個体との毛づくろい交渉と身体接触. 第10回ニホンザル研究セミナー (2009/05, 犬山).
- 上野将敬, 山田一憲, 中道正之 (2009) 飼育ニホンザル集団における攻撃交渉前の攻撃個体と他個体との親和的行動. 第25回日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原).
- 鶴殿俊史, 小林久雄, 藤澤道子, 伊谷原一 (2009) チンパンジーの腎機能マーカーとしてのシスタチンCの有用性の検討. SAGA12 シンポジウム (2009/11, 北九州).
- 狩野文浩, 田中正之, 友永雅己 (2009) チンパンジーにおける顔と体の表情認知. 日本動物心理学会第69回大会. (2009/09, 岐阜).
- 釜鳴宏枝, 長尾充徳, 山本裕己, 國本幸子, 田中正之 (2009) ブラジルバクにおける周産期の行動記録. SAGA12 シンポジウム (2009/09, 北九州).
- 岸尚代, 井上-村山美穂 (2010) 麻葉探知犬の合否を毛色遺伝子 MC1R の型から予測する. ヒトと動物の関係学会第16回学術大会 (2010/03, 東京).
- 岸尚代, 今野晃嗣, 高岡祥子, 前田朋美, 堀裕亮, 森崎礼子, 藤田和生, 井上-村山美穂 (2009) イヌにおける行動特性と遺伝子型との関連解析. 日本動物心理学会大会第73回大会 (2009/09, 岐阜).
- 幸島司郎 (2009) 東京に住み着いたワカケホンセイインコ. 日本動物学会関東支部一般講演会 (2009/07, 東京).
- 後藤学, 寺本研, 浦田健市, 野上悦子, 藤澤道子, 森村成樹, 鶴殿俊史, 小林久雄, 伊谷原一 (2009) チンパンジー複雑雌群の形成. SAGA12 シンポジウム (2009/11, 北九州).
- 小林久雄, 鶴殿俊史, 寺本研, 森村成樹, 野上悦子, 伊谷原一 (2009) チンパンジー・サンクチュアリ・宇土での獣医・飼育者研修制度について. SAGA12 シンポジウム (2009/11, 北九州).
- 今野晃嗣, 井ノ上あさみ, 斎藤佳介, 黒澤弥悦, 伊藤慎一, 村山美穂 (2009) ネコの“パーソナリティ”とアンドロゲン受容体遺伝子多型との関連. 日本動物心理学会大会第73回大会 (2009/09, 岐阜).
- 菅原亨, 郷康広, 鶴殿俊史, 森村成樹, 友永雅己, 今井啓雄, 平井啓 (2009) チンパンジー苦味受容体の多型解析. 第11回日本進化学会大会 (2009/09, 札幌).
- 杉浦秀樹 (2009) ニホンザルについてもっと知ろうーその生態と行動の不思議. 東山動植物園 動物講演会 (2009/11, 名古屋).
- 鈴木真理子 (2009) クーコール発声頻度における性年齢差から考えるニホンザルの群れ. 第25回日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原).
- 鈴木崇文, 冠地富士男, 山口直嗣, 森明雄, 渡辺邦夫, 杉浦秀樹, 松沢哲郎, 伊谷原一 (2009) 幸島における餌付けニホンザルの体重推移. 第25回日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原).
- 鈴木崇文, 冠地富士男, 山口直嗣, 森明雄, 渡辺邦夫, 杉浦秀樹, 松沢哲郎, 伊谷原一 (2009) 幸島における餌付けニホンザルの体重推移. SAGA12 シンポジウム (2009/11, 北九州).
- 竹中晃子, 中村伸, 光永総子, 小野木愛子, 深井祐里, 杉原まどか, 馬場千尋, 井上-村山美穂, 鶴殿俊史 (2009) 倭約遺伝子 PPARG2 の霊長類における進化と意義. 第25回日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原).
- 田代靖子, 井上英治, 小川秀司, 井上-村山美穂, 西田利貞, 竹中修 (2009) 西部タンザニア地域のチンパンジーの遺伝的多様性. 第25回日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原).
- 田中正之 (2009) 動物園に行こうー野生動物の研究から見えてくる人間らしさ. アスニーセミナー (2009/06, 京都).
- 田中正之 (2009) 動物園での研究と教育. 京大サロントーク 第52回 (2009/07, 京都).
- 田中正之 (2009) 動物園でチンパンジー研究. 京都大学総合博物館学術映像博 2009 トークイベント (2009/08, 京都).
- 田中正之 (2009) テナガザルとマンドリルにおけるアラビア数系列の学習(1)ー京都市動物園における比較認知科学研究ー. 日本心理学会第73回大会 (2009/08, 京都).
- 田中正之, 松永雅之, 長尾充徳 (2009) 飼育下ニシゴリラにおける吐き戻し行動の分析と対策ー給餌品目変更による防止効果の検討. 第25回日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原).
- 田中正之, 狩野文浩 (2009) チンパンジーにおけるアイコンとシンボルの保持. 日本動物心理学会第69回大会 (2009/09, 岐阜).
- 田中正之, 柳本博, 松岡賢司, 山下直樹, 長尾充徳, 水野章裕, 松永雅之, 岩橋宣明, 釜鳴宏枝, 岡橋要, 伊藤英之, 山本裕己, 和田晴太郎, 坂本英房 (2009) 京都市動物園における野生動物研究センターの活動について. SAGA12 シンポジウム (2009/09, 北九州).
- 田中正之 (2010) 野生動物研究から見えてくる人間らしさ. 京都市動物園・京都大学野生動物研究センター(WRC)連携2周年記念事業「野生動物学のすすめ」講演 (2010/03, 京都).
- 中川尚史, 杉浦秀樹, 松原幹, 早川祥子, 藤田志歩, 鈴木滋, 下岡ゆき子, 西川真理 (2009) ニホンザルにおける交尾パタンの地域変異. 日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原).
- 中道正之, 大西賢治, 山田一憲 (2009) ニホンザルの高齢の祖母による孫への世話行動. 第25回日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原).
- 中村美知夫 (2009) 社会が複雑であるとはどういうことか?ー社会と個体の関わりについての問題提起. 第25回日本霊長類学会大会 自由集会「社会の学としての霊長類学ー「他者」としての他個体と「社会的な複雑さ」 (2009/07, 各務原).
- 中村美知夫 (2009) チンパンジーってどんな生き物? タンザニア日本人補習校特別講師 (2009/05, ダルエスサラーム).
- 中村美穂 (2009) よく撮る=よく見る. 京都大学総合博物館学術映像博 2009 トークイベント (2009/08, 京都).

中村美穂 (2009) フィールドワークの成果を番組にする。第13回京都大学国際シンポジウム「学術研究における映像実践の最前線」(2009/12, 京都)。

野上悦子, 鶴殿俊史, 森村成樹, 椎原春一 (2009) エンリッチメント実施体験を通じた教育プログラム。SAGA12 シンポジウム (2009/11, 北九州)。

野上悦子, 浦田健市, 上坂博介, 後藤学, 寺本研, 藤澤道子, 森村成樹, 鶴殿俊史, 小林久雄, 伊谷原一 (2009) 樹上でのベッドづくりを再現する。SAGA12 シンポジウム (2009/11, 北九州)。

野口加耶子, 吉田弥生, 岡村博美, 石橋敏章, 高田浩二, 幸島司郎 (2009) 飼育下スナメリの接触を伴う社会行動。日本動物行動学会第28回大会 (2009/09, つくば)。

藤澤道子, 野上悦子, 森村成樹, 伊谷原一, 寺本研, 森裕介, 長野邦寿, 上坂博介, 那須和代, 鶴殿俊史, 後藤学, 浦田健市, 水口清, 小林久雄 (2009) 野生チンパンジーの観察を通して。SAGA12 シンポジウム (2009/11, 北九州)。

藤澤道子, 松林公蔵, 奥宮清人 (2009) チンパンジーの加齢による血圧変化。第51回日本老年医学会学術集会 (2009/06, 横浜)。

藤澤道子, 松林公蔵, 奥宮清人 (2009) 野生チンパンジー社会における高齢個体の行動特性。第51回日本老年医学会学術集会 (2009/06, 横浜)。

藤田志歩, 座馬耕一郎, 花村俊吉, 稲葉あぐみ, 中村美知夫, 清野(布施)未恵子, 坂巻哲也, 郡山尚紀, 島田将喜, 伊藤詞子, 松阪崇久, 西田利貞 (2009) マハレ山塊国立公園におけるエコツーリズムがチンパンジーの健康状態に及ぼす影響。第25回日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原)。

松永雅之, 岡橋要, 田中正之 (2009) ゴンベの森にチンパンジーを訪ねて—京都大学野生動物研究センターとの連携による研修事業について。SAGA12 シンポジウム (2009/09, 北九州)。

村山美穂 (2009) 遺伝的多様性を応用した野生動物の研究。平成21年度第回育種推進検討委員会 (2009/04, 東京)。

村山美穂 (2009) 遺伝子から動物の心を探る。京都大学博物館ジュニアレクチャー (2009/05, 京都)。

村山美穂 (2010) 野生動物から観た遺伝資源の保護と保全への取り組みとその展望。2009年度日本動物遺伝育種学会・在来家畜研究会合同シンポジウム「日本における遺伝資源の保護と保全への取り組みとその展望」(2010/03, 東京)。

村山美穂, 岸尚代 (2009) ワークショップ WS063 イヌとヒト, ヒトとイヌ。日本心理学会大会第73回大会 (2009/08, 京都)。

森村成樹, 藤澤道子, 森裕介, 寺本研 (2010) 飼育チンパンジーの睡眠と環境変化。日本応用動物行動学会2010年度春季研究発表会 (2010/03, 東京)。

安井早紀, 今野見嗣, 田中正之, 伊谷原一, 村山美穂 (2010) ゴウの性格評定と関連遺伝子の探索。ヒトと動物の関係学会第16回学術大会 (2010/03, 東京)。

安井早紀, 吉原正人, 楠田哲士, 井上-村山美穂 (2009) 唾液および糞中のDNA分析によるキリン種における亜種判別法の確立。有蹄類研究会 (2010/03,

広島)。

山田一憲 (2009) 趣旨説明。第25回日本霊長類学会大会 自由集会「ニホンザルの稀な行動に関する情報の交換」。(2009/07, 各務原)。

山田一憲 (2009) 稀な観察の記録の蓄積—ニホンザルにおける子殺し。第25回日本霊長類学会大会 自由集会「ニホンザルの稀な行動に関する情報の交換」。(2009/07, 各務原)。

山田一憲, 中道正之 (2009) ニホンザルの母子の葛藤にみられる生後1年半の発達変化。第25回日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原)。

山本真也, 田中正之 (2009) チンパンジーにおける道具使用技法の社会学習。第25回日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原)。

山本真也, 田中正之 (2009) チンパンジーにおける道具使用技法の社会学習。日本心理学会第73回大会 (2009/08, 京都)。

山本真也, ハムル・タチアナ, 田中正之 (2009) 相手の状況に合わせたチンパンジーの手助け行動。日本動物心理学会第69回大会 (2009/09, 岐阜)。

横山ちひろ, 川崎章弘, 村山美穂, 洪京元, 加藤和実, 尾上浩隆 (2009) コモンマーモセットの対面テストにおける行動特性。第25回日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原)。

吉川翠, 小川秀司, 坂巻哲也, 伊谷原一 (2009) タンザニアの国立公園外におけるチンパンジーの生息密度。第25回日本霊長類学会大会 (2009/07, 各務原)。

学会等での発表・講演 (英語)

Chan Y-C, Christian Roos C, Inoue-Murayama M, Inoue E, Shih C-C, Pei K. J-C, Vigilant L. (2009) Phylogenetic analyses and mitochondrial gene evolution of the gibbon taxa based on the complete mitochondrial genome sequences. ESEB 12th Congress (2009/08, Turin)。

Hayano A, Yamada TK, Kuramochi T, Amano M, Miyazaki N. (2009) Genetic composition of mass-stranded melon headed whales (*Peponocephala electra*) on the Japanese coast. The 3rd International Symposium of the Biodiversity and Evolution, Global COE Project (2009/07, Kyoto)。

Hayano A, Yamada TK, Kuramochi T, Amano M, Miyazaki N. (2009) Genetic composition of mass-stranded melon headed whales (*Peponocephala electra*) on the Japanese coast inferred from microsatellite analysis. The 18th Biennial Conference of the Biology of Marine Mammals (2009/10, Quebeck)。

Humle T. (2009) The ant and the chimpanzee: new insights into cultural primatology. Congress of the European Federation of Primatology-EFP (2009/08, Zurich)。

Humle T. (2009) The chimpanzees of Bossou and the Nimba mountains. Invited speaker, Chester Zoo (2009/11, Chester)。

Humle T. (2009) The Chimpanzee Conservation Center:

- Release update and lessons learnt so far. Pan African Sanctuary Alliance (PASA) Workshop (2009/11, Nairobi).
- Iida E, Nakamura M, Idani G. (2010) Habitat use of bush hyraxes in Mahale. International Symposium “HOPE-GM Lectures on Primate Mind and Society” (2010/03, Kyoto).
- Inoue-Murayama M, Abe H, Kato K, Maeda T. (2009) Genetic diversity of endangered Japanese golden eagle (*Aquila chrysaetos japonica*). The 7th International Conference on Behaviour, Physiology and Genetics of Wildlife (2009/09, Berlin).
- Ishiguro Y, Kamanaru H, Nagao M, Yamamoto Y, Tanaka M. (2009) Social relationships and interactions in a captive group of brown capuchin monkeys. 5th International Inuyama Comparative Social Cognition Symposium (2009/12, Inuyama).
- Iwasaki M, Yamamoto Y, Arai K, Kohshima S. (2009) Diurnal activity rhythm and resting behavior of captive killer whales (*Orcinus orca*). 18th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals (2009/10, Quebec).
- Kishi H, Inoue-Murayama M. (2010) The genotypes of coat color gene may predict the successful training of drug detection dog. International symposium “HOPE-GM Lectures on Primate Mind and Society” (2010/03, Kyoto).
- Kohshima S, Kobayashi H, Kuze N. (2010) Face and eye morphology of the human and nonhuman primates: implications in visual communication. International symposium “HOPE-GM Lectures on Primate Mind and Society” (2010/03, Kyoto).
- Konno A, Inoue-Murayama M, Hasegawa T. (2010) Gene polymorphisms in Japanese Akita Dog and its relation to personality. International symposium “HOPE-GM Lectures on Primate Mind and Society” (2010/03, Kyoto).
- Konno A, Morimura N, Tanaka M, Uono T, Okahashi K, Yamamoto Y, Matsunaga M, Ito F, Inoue-Murayama M, Hasegawa T, Tomonaga M. (2009) Inter-institutional transfer in captive chimpanzees: a case study of relationships among behavior, personality, and “Quality of Life.” 5th International Inuyama Comparative Social Cognition Symposium (2009/12, Inuyama).
- Morisaka T, Karczmarski L, Akamatsu T, Sakai M, Thornton M, Dawson S. (2009) Echolocation signals of Heaviside’s dolphins (*Cephalorhynchus heavisidii*). 5th Animal Sonar Symposium (2009/09, Kyoto).
- Morisaka T, Yoshida Y, Akune Y, Mishima H, Nishimoto S. (2009) Pulsed sound exchange in captive beluga whales: contact call for beluga? 18th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals (2009/10, Quebec).
- Nakamura M. (2009) Long-term field studies of chimpanzees at Mahale Mountains National Park, Tanzania. Göttingen Freilandtage: Long-Term Field Studies of Primates (2009/12, Göttingen).
- Suzuki M. (2009) The age-sex difference in the vocal communication of Japanese macaques. The 3rd International Symposium of the Biodiversity and Evolution, Global COE Project (2009/07, Kyoto).
- Takarada K, Nagao M, Kamanaru H, Yamamoto Y, Tanaka M. (2010) Why regurgitation and reingestion occurs in captive lowland gorillas (*Gorilla gorilla gorilla*). International symposium “HOPE-GM Lectures on Primate Mind and Society” (2010/03, Kyoto).
- Tanaka M. (2010) Acquisition of numerical sequences in three primate species, *Pan troglodytes*, *Hylobates lar*, and *Mandrillus sphinx*. International symposium “HOPE-GM Lectures on Primate Mind and Society” (2010/03, Kyoto).
- Tanaka M, Matsunaga M, Ito F, Yamamoto Y, Kunimoto S. (2009) Group learning of a computer-based task in zoo chimpanzees. 5th International Inuyama Comparative Social Cognition Symposium (2009/12, Inuyama).
- Yamada K. (2010) Development of infant carrying in Japanese macaques. International symposium “HOPE-GM Lectures on Primate Mind and Society.” (2010/03, Kyoto).
- Yamamoto Y, Akamatsu T, Ura T, Sugimatsu H, Kojima J, Bahl R, Behera SK, Kohshima S. (2009) Behavioral monitoring of Ganges river dolphin by using stationed stereo acoustic data loggers. The 5th Animal Sonar Symposium (2009/09, Kyoto).
- Yamamoto Y, Akamatsu T, Ura T, Sugimatsu H, Kojima J, Bahl R, Behera SK, Kohshima S. (2009) Diurnal behavior pattern of Ganges river dolphins (*Platanista gangetica gangetica*) observed by stationed stereo acoustic data loggers. 18th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals (2009/10, Quebec).
- Yasui S, Konno A, Tanaka M, Idani G, Inoue-Murayama M. (2010) Searching for genetic contribution to personality in captive elephants. International symposium “HOPE-GM Lectures on Primate Mind and Society” (2010/03, Kyoto).
- Yoshida Y, Morisaka T, Sakai M, Iwasaki M, Wakabayashi I, Seko A, Kasamatsu M, Fukuzawa H, Akamatsu T, Kohshima S. (2009) Variation and function of the sounds produced by captive Commerson’s dolphins (*Cephalorhynchus commersonii*). 18th Biennial Conference on the Biology of Marine Mammals (2009/10, Quebec).
- Yoshida Y, Morisaka T, Sakai M, Iwasaki M, Wakabayashi I, Seko A, Kasamatsu M, Akamatsu T, Kohshima S. (2009) Pulse sounds of captive commerson’s dolphin. The 5th Animal Sonar Symposium (2009/09, Kyoto).

制作した映像・番組

- 中村美穂 (2009) プレミアム8ワイルドライフ「沖縄やんばる・幻のトゲネズミ再発見」NHK BS hi 2009年4月27日.

受賞

- 岸尚代, 井上-村山美穂 (2010) 麻葉探知犬の合否を毛色遺伝子 MC1R の型から予測する. ヒトと動物の関係学会第 16 回学術大会. ベストポスター賞受賞.
- 山田一憲, 中道正之 (2009) ニホンザルの母子の葛藤にみられる生後 1 年半の発達変化. 第 25 回日本霊長類学会大会. 優秀口頭発表賞受賞.
- Yamada K. (2010) Development of infant carrying in Japanese macaques. International symposium "HOPE-GM Lectures on Primate Mind and Society." ポスター賞第 3 位受賞.
- Yasui S, Konno A, Tanaka M, Idani G, Ioue-Murayama M. (2010) Searching for genetic contribution to personality in captive elephants. International symposium "HOPE-GM Lectures on Primate Mind and Society." ポスター賞第 3 位受賞.

18. 新聞・雑誌・TV 等での紹介

- 京都からの提言「野生動物に学ぶー雪虫からイルカまでー」. 読売新聞 2009 年 4 月 4 日 (幸島司郎).
- 園初のチンパンジー自然出産ー広島安佐動物公園. 中国新聞. 2009 年 4 月 9 日 (CSU).
- 稲盛財団ー若手研究者ら 50 人に助成金. 毎日新聞 (京都版) 2009 年 4 月 14 日 (中村美知夫).
- チンパンジーに勉強部屋ー京大と協定 施設改修. 朝日新聞 2009 年 4 月 18 日 (田中正之).
- チンパンジーがコンピューター学習ー近く深く類人猿舎進化. 京都新聞 2009 年 4 月 18 日 (田中正之).
- われら挑人7ー「なぜ？」が解明する氷点下の世界. 産経新聞 2009 年 4 月 19 日 (幸島司郎).
- チンパンジーのお勉強ー京都市動物園 公開しながら研究. 産経新聞 2009 年 4 月 19 日 (田中正之).
- “歓迎”チンパンジーー京大との研究施設公開. 毎日新聞 2009 年 4 月 19 日 (田中正之).
- チンパンジーの知性感じてー京都市動物園と京大 共同事業. 読売新聞 2009 年 4 月 19 日 (田中正之).
- 窓. 日経新聞 2009 年 4 月 19 日 (田中正之).
- 平岡・京大助教らに稲盛財団から研究助成金. 読売新聞 2009 年 4 月 19 日 (中村美知夫).
- チンパンジーのお勉強ー4 頭が“共同生活” 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90421a.htm> 2009 年 4 月 21 日 (田中正之).
- 高知ーチンパンジー 双子出産. 読売新聞 2009 年 4 月 22 日 (CSU).
- チンパンジーのお勉強ー群れ飼育で知性を研究. 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90511a.htm> 2009 年 5 月 11 日 (田中正之).
- チンパンジーのお勉強ー4 頭の素顔を紹介. 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90518b.htm> 2009 年 5 月 18 日 (田中正之).
- 京大と共同研究進む京都市動物園ーこれからの教育・研究拠点に. 京大学生新聞 2009 年 5 月 20 日 (田

- 中正之).
- チンパンジーのお勉強ー動物園の環境に慣れました. 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90525a.htm> 2009 年 5 月 25 日 (田中正之).
- チンパンジーのお勉強ーお勉強が始まりました！ 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90529a.htm> 2009 年 5 月 29 日 (田中正之).
- チンパンジーお勉強ー1〜9 覚えるヨ. 読売新聞 2009 年 5 月 30 日 (田中正之).
- 京のまち「特集コーナーー動物園にチンパンジーがやってきた」. KBS 京都 2009 年 5 月 31 日 (6 月 1 日再放送) (田中正之).
- チンパンジーのお勉強ーお勉強, 進んでますかぁ？ 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90610a.htm> 2009 年 6 月 10 日 (田中正之).
- チンパンジー, 人間みたい？ー気兼ね, 威嚇 学習にも個性. 京都新聞 2009 年 6 月 11 日 (田中正之).
- 書評ー「チンパンジー ことばのない彼らが語ること」中村美知夫著. 読売新聞 2009 年 6 月 14 日 (中村美知夫).
- チンパンジー [著] 中村美知夫. 朝日新聞 2009 年 6 月 21 日 (中村美知夫).
- チンパンジーのお勉強ー全員お勉強が大好き！ 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90624a.htm> 2009 年 6 月 24 日 (田中正之).
- チンパンジーのお勉強ーお勉強がしたいなあ… 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90629a.htm> 2009 年 6 月 29 日 (田中正之).
- FNN スーパーニュース アンカー. 関西テレビ 2009 年 6 月 30 日 (田中正之).
- ジェーン・グドール紹介. ENGLISH JOURNAL 7: 64, アルク 2009 年 7 月 (伊谷原一).
- 「アウト&アバウト」串間市編. NHK衛星第一 (BS1) 2009 年 7 月 5 日 (鈴木崇文・冠地富士男).
- チンパンジーのお勉強ー“4”に大苦戦中… 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90706b.htm> 2009 年 7 月 6 日 (田中正之).
- チンパンジーの学習公開ーパネルの前で個性豊かに. 共同通信 <http://www.47news.jp/CN/200907/CN2009071301000035.html> 2009 年 7 月 13 日 (田中正之).
- チンパンジーーパネルで勉強. 神戸新聞 2009 年 7 月 13 日 (田中正之).
- 数字の大小 しっかり勉強ー京都市動物園. 北日本新聞 2009 年 7 月 13 日 (田中正之).
- 勉強めぐり個性発揮ーチンパンジーまるで人間. 岐阜新聞 2009 年 7 月 13 日 (田中正之).
- チンパンジーの学習公開ー4 頭に個性 習熟度に差. 高知新聞 2009 年 7 月 13 日 (田中正之).
- チンパンジー学びの風景ー京都市動物園公開. 北陸中日新聞 2009 年 7 月 13 日 (田中正之).
- 京都市動物園ーチンパンジーの学習公開. 四国新聞 2009 年 7 月 14 日 (田中正之).
- チンパンジーの“授業”参観ー京都市動物園タッチパネル数字学習を公開. 愛媛新聞 2009 年 7 月 14 日 (田中正之).
- パネルで数字お勉強ーチンパンジーの様子公開. 徳島

新聞 2009 年 7 月 14 日 (田中正之).
 パネルの前で個性豊かにチンパンジーが数字学習. 長崎新聞 2009 年 7 月 14 日 (田中正之).
 数字の学習を公開—京都市動物園チンパンジー4 頭. 熊本日日新聞 2009 年 7 月 14 日 (田中正之).
 パネル使い数字学習—京都市動物園. 琉球新報 2009 年 7 月 14 日 (田中正之).
 個性豊か—チンパンジーの学習ぶり SANKEI EXPRESS 2009 年 7 月 14 日 (田中正之).
 Kyoto zoo chimps no chumps at simple math. The Japan Times <http://search.japantimes.co.jp/cgi-bin/nn20090715f4.html> 2009 年 7 月 15 日 (田中正之).
 岡崎チンパンジー日記(1)—数字学習「達成の喜び」. 京都新聞 2009 年 7 月 15 日 (田中正之).
 岡崎チンパンジー日記(2)—顔にも味わい, 繁殖期待. 京都新聞 2009 年 7 月 16 日 (田中正之).
 チンパンジーのお勉強—今日は調子がいいみたい♪ 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90716b.htm> 2009 年 7 月 16 日 (田中正之).
 岡崎チンパンジー日記(3)—群れの力関係 学習に影響. 京都新聞 2009 年 7 月 17 日 (田中正之).
 京都市動物園チンパンジー4 頭 数字の学習を公開—上下関係人間さながら. 熊日新聞 2009 年 7 月 21 日 (CSU).
 チンパンジーのお勉強—コイコの暇つぶし. 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90727b.htm> 2009 年 7 月 27 日 (田中正之).
 チンパンジーのお勉強—ヨウコとスズミの「補習」. 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90803b.htm> 2009 年 8 月 3 日 (田中正之).
 次世代人 中村美知夫さん「チンパンジー社会学」. 読売新聞 2009 年 8 月 15 日 (中村美知夫).
 チンパンジーのお勉強—できる男!? タカシ 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90821b.htm> 2009 年 8 月 21 日 (田中正之).
 チンパンジーのお勉強—突然の大ゲンカ! 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90827b.htm> 2009 年 8 月 27 日 (田中正之).
 パンくんの芸ダメなの? 過度の人まね「繁殖に影響」. 2009 年 8 月 27 日 (伊谷原一).
 チンパンジーのお勉強—スズミの誕生日. 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90903b.htm> 2009 年 9 月 3 日 (田中正之).
 チンパンジーのお勉強—勉強時間の終わりには… 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90910b.htm> 2009 年 9 月 10 日 (田中正之).
 チンパンジーのお勉強—かなり差がついてきた? 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90917b.htm> 2009 年 9 月 17 日 (田中正之).
 “野生”の回復見守る—チンパンジー59 頭暮らす保護施設. 2009 年 9 月 20 日 (CSU).
 健康守る獣医師—人間の医学書めくり苦闘. 熊本日日新聞 2009 年 9 月 21 日 (CSU).
 飼育担当者の疑問—ショー引退後孤独な余生. 熊本日日新聞 2009 年 9 月 22 日 (CSU).
 野生の暮らし研究—飼育に工夫行動引き出す. 熊本日日新聞 2009 年 9 月 23 日 (CSU).

チンパンジーのお勉強—それぞれ個性がありまして. 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv90924a.htm> 2009 年 9 月 24 日 (田中正之).
 ボスザル 捨て子を介抱—淡路島 サルの「寛容」解明の手がかり? 朝日新聞 2009 年 9 月 25 日 (山田一憲).
 Rift Valley: Der Grosse Graben—The Great Rift. Cosmos Factory 2009 年 10 月 10 日 (中村美知夫).
 京都市動物園・チンパンジー舎 NPO の大賞受—「研究公開」高い評価. 京都新聞 2009 年 10 月 14 日 (田中正之).
 チンパンジー, 要求あれば手助けも「ストローどうぞ」—実験で解明・京大霊長類研. 時事ドットコム http://www.jiji.com/jc/c?g=soc_30&k=2009101400214 2009 年 10 月 14 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 チンパンジーが「利他行動」—求めに応じ道具を手渡し. 共同通信 47NEWS <http://www.47news.jp/CN/200910/CN2009101401000059.html> 2009 年 10 月 14 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 チンパンジーも手助け—要求に応え道具渡す. 中日新聞 2009 年 10 月 14 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 道具欲しい? どうぞ使って—チンパンジー義理堅く. 産経新聞 2009 年 10 月 14 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 チンパンジーおせっかいなし—助けは求められた時だけ. 朝日新聞 2009 年 10 月 14 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 褒美なくてもお手伝い—チンパンジーの利他行動. 京都新聞 2009 年 10 月 14 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 仲間がジュース ストローどうぞ—求めに応じ手助け. 日経新聞 2009 年 10 月 14 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 助け合うチンパンジー—道具を受け渡し. 毎日新聞 2009 年 10 月 14 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 「道具貸して」「どうぞ」—チンパンジー無償の愛. 読売新聞 2009 年 10 月 14 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 チンパンジー—求めに応じ道具手渡し. 徳島新聞 2009 年 10 月 14 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 チンパンジー—仲間と助け合い. 中国新聞 2009 年 10 月 14 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 仲間の求めに, 道具手渡し—チンパンジーで確認 京大・岐阜新聞 2009 年 10 月 14 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 求めに応じ道具手渡し—京都大准教授ら チンパンジーで確認. 山陽新聞 2009 年 10 月 14 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 チンパンジー, 求めに応じ手渡し「ステッキどうぞ」. 佐賀新聞 2009 年 10 月 15 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 チンパンジー 道具貸して どうぞ—求めに応じ「助け合い」. 高知新聞 2009 年 10 月 15 日 (田中正之・Tatyana Humle).
 求めに応じ道具手渡し—チンパンジー実験 利他行動解明に光. 新潟日報 2009 年 10 月 15 日 (田中正之・Tatyana Humle).

チンパンジー見返りなくても手助け。日刊工業新聞 2009 年 10 月 15 日 (田中正之・Tatyana Humle).
「それ、とって」「あらっ、いいわよ」手助けするチンパンジー。赤旗 2009 年 10 月 15 日 (田中正之・Tatyana Humle).
求めに応じ、道具「はい」一京大チーム チンパンジーの「利他行動」確認。南日本新聞 2009 年 10 月 15 日 (田中正之・Tatyana Humle).
チンパンジーのお勉強一気分転換も大事。読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv91015b.htm> 2009 年 10 月 15 日 (田中正之).
名古屋港水族館一岐阜大、京大と連携 研究・調査 展示など充実へ。毎日新聞 2009 年 10 月 17 日 (WRC).
チンパンジーのお勉強一勉学の秋？やる気満々！ 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv91022a.htm> 2009 年 10 月 22 日 (田中正之).
チンパンジーのお勉強一なくてはならない勉強時間。読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv91029b.htm> 2009 年 10 月 29 日 (田中正之).
チンパンジーのお勉強一2 頭はライバル？ 読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv91105a.htm> 2009 年 11 月 5 日 (田中正之).
利他行動の起源に迫る一チンパンジー 要求に応じて手助け 見返りが無くても継続。京大学生新聞 2009 年 11 月 5 日 (田中正之・Tatyana Humle).
チンパンジーのお勉強一横取りはひどいよ…。読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv91112b.htm> 2009 年 11 月 12 日 (田中正之).
チンパンジーのお勉強一僕たちも勉強してます！…。読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv91119a.htm> 2009 年 11 月 19 日 (田中正之).
チンパンジーのお勉強一教育的指導!?…。読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv91126b.htm> 2009 年 11 月 26 日 (田中正之).
生きもの大好き(88) シロテテナガザル一開発ですむ場所が減少。山梨日日新聞 2009 年 12 月 8 日 (田中正之).
チンパンジーのお勉強一「4 の壁」再び…。読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv91210b.htm> 2009 年 12 月 10 日 (田中正之).
チンパンジーのお勉強一微妙な力関係…。読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv91217b.htm> 2009 年 12 月 17 日 (田中正之).
生きもの大好き(88) シロテテナガザル一手足の先が長いダンナさんは、数字の勉強中。神戸新聞 2009 年 12 月 20 日 (田中正之).
生きもの大好き(90) マンドリルー色鮮やか顔とおしり。山梨日日新聞 2009 年 12 月 22 日 (田中正之).
生きもの大好き マンドリルー勉強できることも 北日本新聞 2009 年 12 月 27 日 (田中正之).
チンパンジー繁殖や飼育法一熊本市と京大連携へ。熊本日日新聞 2010 年 1 月 5 日 (WRC).
生きもの大好き(91) チンパンジー一けんかをしても仲直り。山梨日日新聞 2010 年 1 月 5 日 (田中正之).
熊本市 京大と野生動物保全協定 28 日締結一チンパンジー繁殖など協力。西日本新聞 2010 年 1 月 7 日

(WRC).
生きもの大好き チンパンジー一けんかしても仲直り。北日本新聞 2010 年 1 月 10 日 (田中正之).
生きもの大好き(90) マンドリルー色鮮やかな父親。子どもの方が勉強ができる。神戸新聞 2010 年 1 月 10 日 (田中正之).
チンパンジーのお勉強一さようなら ヨウコ…。読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv100112a.htm> 2010 年 1 月 12 日 (田中正之).
生きもの大好き(6) チンパンジー一個々に異なる性格。徳島新聞 2010 年 1 月 18 日 (田中正之).
チンパンジーのお勉強一3 頭になった勉強部屋…。読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv100121b.htm> 2010 年 1 月 21 日 (田中正之).
世界一受けた授業「チンパンジーを見れば人間社会が見えてくる！？未開の地で驚きの生態をとらえた！！」日本テレビ 2010 年 1 月 23 日 (中村美知夫).
生きもの大好き シロテテナガザル一午後は毎日数字の勉強 熊本日日新聞 2010 年 1 月 24 日 (田中正之).
チンパンジーのお勉強一若い子には勝てない？…。読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv100128b.htm> 2010 年 1 月 28 日 (田中正之).
生きもの大好き マンドリルー色鮮やかなお父さん、子どもの方が勉強得意。西日本新聞 2010 年 1 月 29 日 (田中正之).
チンパンジー飼育、研究一熊本市 京大と協定。熊本日日新聞 2010 年 1 月 29 日 (WRC).
チンパンジー 繁殖など協定一熊本市と京都大。熊本日日新聞 2010 年 1 月 29 日 (WRC).
情報交差点 動物園へ行ってみよう一チンパンジーは数字に強い。ナショナルジオグラフィック <http://nng.nikkeibp.co.jp/nng/event/museum/1002/index.shtml> 2010 年 2 月 (田中正之).
生きもの大好き(11) マンドリルーお父さんはカラフル。山陰中央日報 2010 年 2 月 3 日 (田中正之).
生きもの大好き マンドリルーおしり色あざやか。熊本日日新聞 2010 年 2 月 7 日 (田中正之).
チンパンジーのお勉強一勉強部屋に体重計を設置…。読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv100211a.htm> 2010 年 2 月 10 日 (田中正之).
動物との共生 在り方探る一京都大学野生動物研究センター長 伊谷原一さん。熊本日日新聞 2010 年 2 月 12 日 (伊谷原一).
生きもの大好き チンパンジー一けんかしても仲直り。熊本日日新聞 2010 年 2 月 14 日 (田中正之).
チンパンジーも駆け引き一京都大学野生動物研究センター長 伊谷原一さん。朝日新聞 2010 年 2 月 15 日 (伊谷原一).
チンパンジーのお勉強一勉強時間は長すぎてもダメ？…。読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv100218a.htm> 2010 年 2 月 18 日 (田中正之).
生きもの大好き マンドリルー色鮮やかなお父さん、勉強は子どもの方が得意。日本海新聞 2010 年 2 月 21 日 (田中正之).
生きもの大好き(82) シロテテナガザル一数字記憶に挑

戦, 手足の先は白い. 茨城新聞 2010 年 2 月 22 日 (田中正之).

生きもの大好き(13) チンパンジー—追いかけっこをして遊ぶ. 京都新聞 2010 年 2 月 28 日 (田中正之).

チンパンジー繁殖や飼育法—熊本市と京大連携へ. 熊本日日新聞 2010 年 3 月 (WRC).

チンパンジーのお勉強—ブランクがあると…。読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv100304a.htm> 2010 年 3 月 4 日 (田中正之).

生きもの大好き(84) マンドリルー派手な色彩の顔, おもしろい. 茨城新聞 2010 年 3 月 8 日 (田中正之).

生きもの大好き(85) チンパンジー仲間とけんかや追いかけっこ. 茨城新聞 2010 年 3 月 15 日 (田中正之).

動物園に研究者常駐—動物の学習実験を公開. 日刊工業新聞 2010 年 3 月 16 日 (田中正之).

チンパンジーのお勉強—不在の影響は大きい…。読売新聞 <http://osaka.yomiuri.co.jp/movie/chimpanzee/mv100319b.htm> 2010 年 3 月 19 日 (田中正之).

チンパンジー 2 匹仲間入り—とべ動物園. 愛媛新聞社 ONLINE 2010 年 3 月 22 日 (CSU).

生きもの大好き(88) マンドリルー子どもの方が優秀? 岐阜新聞 2010 年 3 月 22 日 (田中正之).

京都 学びの系譜 6 「バイオニアワーク」京都新聞 2010 年 3 月 27 日 (幸島司郎).

科学技術振興機構サイエンス・チャンネル「赤ちゃんがいっぱい」17 マンドリルの巻 (京都市動物園) <http://sc-smn.jst.go.jp/> (田中正之).

19. 附属観察所利用実績

幸島観察所

京都大学野生動物研究センター 9 名. 野外実習. 2009 年 5 月 10 日～16 日.

京都大学霊長類研究所 8 名. 生態学実習. 2009 年 5 月 17 日～23 日.

原澤牧子 (京都大学). ニホンザル母子の運搬についての調査. 2009 年 5 月 24 日～2010 年 2 月 10 日.

松岡絵里子 (京都大学). ニホンザルにおけるみなしごの行動・社会関係の調査. 2009 年 6 月 28 日～8 月 5 日.

立命館慶祥中学校 22 名. 野生のニホンザルの生態観察・見学. 2009 年 7 月 23 日.

韓国 SBS ニホンザルの取材. 2009 年 7 月 26～10 月 1 日.

Mark James Adams (Edinburgh University). Study on monkey's personality. 2009 年 8 月 19 日～21 日.

ガリレー・プロダクション (フランス) ニホンザルの予備取材. 2009 年 10 月 20 日.

宮崎県総合博物館 40 名. 幸島サル観察会. 2009 年 11 月 7 日.

G-Complex (フジ系) 「ミカイノチ」, ニホンザルの取材. 2009 年 11 月 25 日.

NHK 「新・日本風土記」テーマ:塩, イモ洗いの撮影・インタビュー. 2009 年 12 月 12 日.

栗田博之 (大分市). ニホンザルの写真計測法による体長計測. 2010 年 2 月 15 日～18 日.

日本哺乳類学会・森田哲夫 (宮崎大学) 他 7 名. ニホンザル見学. 2010 年 2 月 16 日.

岐阜大学ポケットゼミナール 11 名. 幸島自然学セミナー. 2010 年 3 月 1 日～6 日.

Frans deWaal (Emory University) 他 4 名. ニホンザル見学. 2010 年 3 月 17 日.

テレビ宮崎「フラワーフェスタ」, 宮崎県の観光地としての幸島の紹介. 2010 年 3 月 18 日.

William McGrew (Cambridge University) 他 10 名. ニホンザルの観察. 2010 年 3 月 29 日～31 日.

屋久島観察所

大久保実香 (東京大学). 人と自然とのかかわりの在り方の変容と現状に関する聞き取り調査. 2009 年 3 月 29 日～4 月 9 日.

鈴木聡 (京都大学). 小型哺乳類の捕獲調査. 2009 年 4 月 4 日～12 日.

半谷吾郎 (京都大学). 上部域ニホンザルの調査. 2009 年 4 月 14 日～20 日.

藤田真梨子 (神戸大学) 他 1 名. ヤマモモのリター及びフェノロジーの調査. 2009 年 4 月 21 日～5 月 3 日.

澤田晶子 (京都大学). ニホンザルのキノコ食に関する調査. 2009 年 5 月 14 日～6 月 6 日.

城野哲平 (京都大学) 他 1 名. ミナミヤモリおよびヤクヤモリの採集. 2009 年 5 月 20 日～6 月 1 日.

寺川眞理 (京都大学) 他 5 名. ヤマモモの種子散布の調査. 2009 年 5 月 29 日～6 月 24 日.

藤田真梨子 (神戸大学). ヤマモモとヤマモモキバガの調査. 2009 年 5 月 30 日～6 月 8 日.

幸田良介 (京都大学) 他 1 名. ヤクシカの密度と林床植生への影響に関する調査. 2009 年 5 月 30 日～6 月 28 日.

澤田晶子 (京都大学). ニホンザルのキノコ食に関する調査. 2009 年 6 月 21 日～7 月 15 日.

佐藤博俊 (森林総合研究所). キノコ類の子実体サンプルの採集. 2009 年 6 月 29 日～7 月 3 日.

西川眞理 (京都大学) 他 1 名. ニホンザルにおける食物を巡る競合と競合回避に関する調査. 2009 年 7 月 1 日～25 日.

大谷洋介 (京都大学). ニホンザル集団の中の周辺雄の行動と遊動の研究. 2009 年 7 月 6 日～15 日.

Andrew JJ MacIntosh (京都大学). Primate Parasite Ecology and host behaviour among Yakushima Macaques. 2009 年 7 月 9 日～8 月 25 日.

杉浦秀樹 (京都大学) 他 8 名. ヤクシマザルおよびヤクシカのセンサス. 2009 年 7 月 17 日～8 月 25 日.

澤田晶子 (京都大学). ニホンザルのキノコ食に関する調査. 2009 年 7 月 23 日～9 月 5 日.

揚妻直樹 (北海道大学) 他 1 名. 照葉樹林内におけるシカの採食効率に与えるサルの影響. 2009 年 7 月 26 日～8 月 17 日.

藤田真梨子 (神戸大学). ヤマモモとヤマモモキバガの

調査. 2009 年 8 月 2 日～8 日.
早川祥子 (京都大学). ニホンザルの長期継続観察と DNA サンプルの採取. 2009 年 8 月 7 日～12 日.
大谷洋介 (京都大学). ニホンザル集団の中の周辺雄の行動と遊動の研究. 2009 年 9 月 1 日～23 日.
京都大学グローバル COE プログラム「生物多様性と進化県有のための拠点形成」・京都大学理学研究科 32 名. フィールド科学実習. 2009 年 9 月 1 日～11 日.
寺川眞理 (京都大学). 「フィールド科学実習」のための予備調査と実習後の追加サンプルの採集. 2009 年 9 月 1 日～16 日.
田中幸治 (京都大学). シマヘビの色彩二型間における逃避行動の比較. 2009 年 9 月 9 日～18 日.
田中幸治 (京都大学). ニホンザルのキノコ食に関する調査. 2009 年 9 月 12 日～25 日.
河合潮 (京都大学). ミナミヤモリとヤクヤモリの分布, 及び二種のダニ寄生率に関する調査. 2009 年 9 月 18 日～27 日.
幸田良介 (京都大学). ヤクシカの密度と林床植生への影響に関する調査. 2009 年 10 月 5 日～11 月 13 日.
大谷洋介 (京都大学). ニホンザル集団の中の周辺雄の行動と遊動の研究. 2009 年 10 月 10 日～11 月 29 日.
澤田晶子 (京都大学). ニホンザルのキノコ食に関する調査. 2009 年 10 月 10 日～12 月 17 日.
相場慎一郎 (鹿児島大学) 他 2 名. 植物に対するヤクシカの採食の影響の調査. 2009 年 10 月 21 日～25 日.
藤田真梨子 (神戸大学). ヤマモモとヤマモモキバガの調査. 2009 年 10 月 22 日～28 日.
小川恵 (岐阜大学). ヤクシマザルとヤクシカの糞便中における薬剤耐性大腸菌の調査. 2009 年 11 月 12 日～22 日.
揚妻直樹 (北海道大学) 他 1 名. 照葉樹林内におけるシカの採食効率に与えるサルの影響. 2009 年 11 月 19 日～12 月 18 日.
西川眞理 (京都大学) 他 1 名. ヤクシマザルの採食行動および夜間行動の観察. 2009 年 12 月 7 日～25 日.
藤田真梨子 (神戸大学). ヤマモモとヤマモモキバガの調査. 2009 年 12 月 10 日～16 日.
早川祥子 (京都大学). ニホンザルの長期継続観察と DNA サンプルの採取. 2009 年 12 月 25 日～31 日.
澤田晶子 (京都大学). ニホンザルのキノコ食に関する調査. 2010 年 1 月 9 日～2 月 23 日.
藤田真梨子 (神戸大学). ヤマモモとヤマモモキバガの調査. 2010 年 2 月 7 日～14 日.
辻野亮 (総合地球環境学研究所). シカ防除柵の内外における樹木実生の植生調. 2010 年 2 月 11 日～18 日.
揚妻直樹 (北海道大学) 他 2 名. 照葉樹林内におけるシカの採食効率に与えるサルの影響. 2010 年 2 月 23 日～3 月 3 日.
相場慎一郎 (鹿児島大学) 他 1 名. シカの採食が常緑低木ポチョウジの葉の動態に与える影響. 2010 年 3 月 9 日～11 日.

澤田晶子 (京都大学). ニホンザルのキノコ食に関する調査. 2010 年 3 月 12 日～(年度を超えて調査中).
西川眞理 (京都大学) 他 1 名. ヤクシマザルの泊り場における夜間行動の観察および日中の採食競合に伴う敵対的交渉の調査. 2010 年 3 月 15 日～4 月 8 日.
大谷洋介 (京都大学). ヤクシマザル野生個体群の遊動, 採食, 社会交渉に関する調査. 2010 年 3 月 17 日～(年度を超えて調査中).
寺川眞理 (京都大学). ヤマモモの分布調査. 2010 年 3 月 20 日～31 日.

2009 年度 京都大学野生動物研究センター年報

発行者

京都大学野生動物研究センター

〒606-8203 京都市左京区田中関田町 2-24 3 階

電話: 075-771-4393 FAX: 075-771-4394

<http://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/>

2010 年 4 月発行



www.wrc.kyoto-u.ac.jp